

青柳小学校 体育館 空調設備設置工事
図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
M - 01	特記仕様書(1)	E - 01	特記仕様書	A - 01	特記仕様書(1)
M - 02	特記仕様書(2)	E - 02	配置図・付近見取り図	A - 02	特記仕様書(2)
M - 03	配置図・付近見取図	E - 03	受変電設備単線結線図(改修前)	A - 03	特記仕様書(3)
M - 04	凡例・機器表	E - 04	受変電設備単線結線図(改修後)	A - 04	特記仕様書(4)
M - 05	空調設備 1階平面図	E - 05	盤結線図 幹線動力設備系統図	A - 05	特記仕様書(5)
M - 06	空調設備 展開図1	E - 06	1階平面図 幹線動力設備 電灯コンセント設備(改修後)	A - 06	青柳小学校 工事概要・付近見取図・配置図
M - 07	空調設備 展開図2			A - 07	青柳小学校 体育館 仕上表(改修前・後)
M - 08	自動制御設備 1階平面図			A - 08	青柳小学校 体育館 1階平面図(改修前・後)
M - 09	機器防止格子参考図			A - 09	青柳小学校 体育館 2階平面図(改修前・後)
				A - 10	青柳小学校 体育館 立面図(改修前)
				A - 11	青柳小学校 体育館 断面図1(改修前・後)
				A - 12	青柳小学校 体育館 断面図2(改修前・後)
				A - 13	青柳小学校 体育館 矩計図(改修前・後)
				A - 14	青柳小学校 体育館 空調機器取付下地詳細図
				A - 15	青柳小学校 体育館 外構図(改修前・後)
				A - 16	青柳小学校 体育館 フェンス参考図
				A - 17	青柳小学校 仮設計画図

14 受水設備	15 浄化槽	※加圧給水ポンプ（住宅物件）の仕様については、加圧給水ポンプユニット仕様書（国土交通省仕様）による。																																																																																																																																			
		※浄化槽仕様書による。																																																																																																																																			
16 営繕 保温 仕様	管類	給排水衛生設備	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="3">保 温 種 別</th> <th colspan="5">区 分 別</th> </tr> <tr> <th>結水</th> <th>中水</th> <th>排水</th> <th>給水</th> <th>給湯</th> <th>ガス</th> <th>ガス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋 内 露 出</td> <td>1.グラスウール 2.被膜 3.合成樹脂断熱カバー</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機 械 室・倉 庫</td> <td>1.グラスウール 2.被膜 3.アルミガラスクロス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>天井内・PS内・空腔壁中</td> <td>1.アルミガラスクロス仕掛け 2.アルミガラスクロス 仕掛け</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>床 下・暗 渠 内</td> <td>1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>床下・暗渠内・コナリ内</td> <td>1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>屋外露出・多湿箇所</td> <td>1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>屋外露出・多湿箇所</td> <td>1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>黒 管 塗 装</td> <td>1.熱点めいん 2.熱点めいん (2層)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>白 管 塗 装</td> <td>1.エポキシプライマー 2.熱点めいん (1層) 3.熱点めいん (2層)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	保 温 種 別			区 分 別					結水	中水	排水	給水	給湯	ガス	ガス	屋 内 露 出	1.グラスウール 2.被膜 3.合成樹脂断熱カバー	○	○	○	○	○	○	機 械 室・倉 庫	1.グラスウール 2.被膜 3.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○	天井内・PS内・空腔壁中	1.アルミガラスクロス仕掛け 2.アルミガラスクロス 仕掛け	○	○	○	○	○	○	床 下・暗 渠 内	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○	床下・暗渠内・コナリ内	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○	屋外露出・多湿箇所	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	○	○	○	○	○	○	屋外露出・多湿箇所	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	○	○	○	○	○	○	黒 管 塗 装	1.熱点めいん 2.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○	白 管 塗 装	1.エポキシプライマー 2.熱点めいん (1層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○																																										
		施工箇所	保 温 種 別			区 分 別																																																																																																																															
			結水	中水	排水	給水	給湯	ガス	ガス																																																																																																																												
		屋 内 露 出	1.グラスウール 2.被膜 3.合成樹脂断熱カバー	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		機 械 室・倉 庫	1.グラスウール 2.被膜 3.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		天井内・PS内・空腔壁中	1.アルミガラスクロス仕掛け 2.アルミガラスクロス 仕掛け	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		床 下・暗 渠 内	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		床下・暗渠内・コナリ内	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		屋外露出・多湿箇所	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		屋外露出・多湿箇所	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		黒 管 塗 装	1.熱点めいん 2.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		白 管 塗 装	1.エポキシプライマー 2.熱点めいん (1層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		空調設備工事	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="3">保 温 種 別</th> <th colspan="5">区 分 別</th> </tr> <tr> <th>結水</th> <th>中水</th> <th>排水</th> <th>給水</th> <th>給湯</th> <th>ガス</th> <th>ガス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋 内 露 出</td> <td>1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレン 4.合成樹脂断熱カバー</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>屋 内 露 出</td> <td>1.被膜断熱の断熱材 2.保温化粧ケース（鋼板製）断熱断熱（アクリル）※断熱断熱</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機 械 室・倉 庫</td> <td>1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレン 4.アルミガラスクロス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機 械 室・倉 庫</td> <td>1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.アルミガラスクロス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>天井内・PS内・空腔壁中</td> <td>1.アルミガラスクロス仕掛け 2.アルミガラスクロス 仕掛け</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>天井内・PS内・空腔壁中</td> <td>1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.アルミガラスクロス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>天井内・PS内・空腔壁中</td> <td>1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.アルミガラスクロス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>床下・暗渠内・コナリ内</td> <td>1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>床下・暗渠内・コナリ内</td> <td>1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>屋外露出・多湿箇所</td> <td>1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>屋外露出・多湿箇所</td> <td>1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>屋外露出・多湿箇所</td> <td>1.被膜断熱の断熱材 2.保温化粧ケース</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	保 温 種 別			区 分 別					結水	中水	排水	給水	給湯	ガス	ガス	屋 内 露 出	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレン 4.合成樹脂断熱カバー	○	○	○	○	○	○	屋 内 露 出	1.被膜断熱の断熱材 2.保温化粧ケース（鋼板製）断熱断熱（アクリル）※断熱断熱	○	○	○	○	○	○	機 械 室・倉 庫	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレン 4.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○	機 械 室・倉 庫	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○	天井内・PS内・空腔壁中	1.アルミガラスクロス仕掛け 2.アルミガラスクロス 仕掛け	○	○	○	○	○	○	天井内・PS内・空腔壁中	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○	天井内・PS内・空腔壁中	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○	床下・暗渠内・コナリ内	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○	床下・暗渠内・コナリ内	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○	屋外露出・多湿箇所	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	○	○	○	○	○	○	屋外露出・多湿箇所	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	○	○	○	○	○	○	屋外露出・多湿箇所	1.被膜断熱の断熱材 2.保温化粧ケース	○	○	○	○	○	○																		
		施工箇所	保 温 種 別			区 分 別																																																																																																																															
			結水	中水	排水	給水	給湯	ガス	ガス																																																																																																																												
		屋 内 露 出	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレン 4.合成樹脂断熱カバー	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		屋 内 露 出	1.被膜断熱の断熱材 2.保温化粧ケース（鋼板製）断熱断熱（アクリル）※断熱断熱	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		機 械 室・倉 庫	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレン 4.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
機 械 室・倉 庫	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○																																																																																																																														
天井内・PS内・空腔壁中	1.アルミガラスクロス仕掛け 2.アルミガラスクロス 仕掛け	○	○	○	○	○	○																																																																																																																														
天井内・PS内・空腔壁中	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○																																																																																																																														
天井内・PS内・空腔壁中	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○																																																																																																																														
床下・暗渠内・コナリ内	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○																																																																																																																														
床下・暗渠内・コナリ内	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○																																																																																																																														
屋外露出・多湿箇所	1.グラスウール 2.被膜 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	○	○	○	○	○	○																																																																																																																														
屋外露出・多湿箇所	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	○	○	○	○	○	○																																																																																																																														
屋外露出・多湿箇所	1.被膜断熱の断熱材 2.保温化粧ケース	○	○	○	○	○	○																																																																																																																														
17 住宅 保温 仕様	管類	給排水衛生設備	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="3">保 温 種 別</th> <th colspan="5">区 分 別</th> </tr> <tr> <th>結水</th> <th>中水</th> <th>排水</th> <th>給水</th> <th>給湯</th> <th>ガス</th> <th>ガス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋 内 露 出（住宅内）黒管</td> <td>1.熱点めいん (2層) 2.熱点めいん (2層) 3.熱点めいん (2層)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>屋 内 露 出（住宅内）白管</td> <td>1.エポキシプライマー 2.熱点めいん (1層) 3.熱点めいん (2層)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機 械 室 内</td> <td>1.エポキシプライマー 2.被膜 3.被膜 4.被膜 5.被膜 6.被膜</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>メーターボックス内黒管</td> <td>1.熱点めいん (2層) 2.熱点めいん (2層) 3.熱点めいん (2層)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>メーターボックス内白管</td> <td>1.エポキシプライマー 2.熱点めいん (1層) 3.熱点めいん (2層)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>メーターボックス内</td> <td>1.グラスウール 2.被膜 3.アルミガラスクロス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>床 下・暗 渠 内</td> <td>1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>床 下・暗 渠 内</td> <td>1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>天 井 内・P S 内</td> <td>1.グラスウール 2.被膜 3.アルミガラスクロス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>スラブ上床板間転がし</td> <td>1.保温テープ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>スラブ上床板間転がし</td> <td>1.おじり断熱止</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>洗 面 台 内</td> <td>1.エポキシプライマー 2.熱点めいん (1層) 3.熱点めいん (2層)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>屋 外 露 出</td> <td>1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>屋 外 露 出 黒 管</td> <td>1.熱点めいん (2層) 2.熱点めいん (2層) 3.熱点めいん (2層)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>屋 外 露 出 白 管</td> <td>1.エ</td></tr></tbody></table>	施工箇所	保 温 種 別			区 分 別					結水	中水	排水	給水	給湯	ガス	ガス	屋 内 露 出（住宅内）黒管	1.熱点めいん (2層) 2.熱点めいん (2層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○	屋 内 露 出（住宅内）白管	1.エポキシプライマー 2.熱点めいん (1層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○	機 械 室 内	1.エポキシプライマー 2.被膜 3.被膜 4.被膜 5.被膜 6.被膜	○	○	○	○	○	○	メーターボックス内黒管	1.熱点めいん (2層) 2.熱点めいん (2層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○	メーターボックス内白管	1.エポキシプライマー 2.熱点めいん (1層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○	メーターボックス内	1.グラスウール 2.被膜 3.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○	床 下・暗 渠 内	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○	床 下・暗 渠 内	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○	天 井 内・P S 内	1.グラスウール 2.被膜 3.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○	スラブ上床板間転がし	1.保温テープ	○	○	○	○	○	○	スラブ上床板間転がし	1.おじり断熱止	○	○	○	○	○	○	洗 面 台 内	1.エポキシプライマー 2.熱点めいん (1層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○	屋 外 露 出	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	○	○	○	○	○	○	屋 外 露 出 黒 管	1.熱点めいん (2層) 2.熱点めいん (2層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○	屋 外 露 出 白 管	1.エ
		施工箇所	保 温 種 別			区 分 別																																																																																																																															
			結水	中水	排水	給水	給湯	ガス	ガス																																																																																																																												
		屋 内 露 出（住宅内）黒管	1.熱点めいん (2層) 2.熱点めいん (2層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		屋 内 露 出（住宅内）白管	1.エポキシプライマー 2.熱点めいん (1層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		機 械 室 内	1.エポキシプライマー 2.被膜 3.被膜 4.被膜 5.被膜 6.被膜	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		メーターボックス内黒管	1.熱点めいん (2層) 2.熱点めいん (2層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		メーターボックス内白管	1.エポキシプライマー 2.熱点めいん (1層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		メーターボックス内	1.グラスウール 2.被膜 3.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		床 下・暗 渠 内	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		床 下・暗 渠 内	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.省エネアルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		天 井 内・P S 内	1.グラスウール 2.被膜 3.アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		スラブ上床板間転がし	1.保温テープ	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		スラブ上床板間転がし	1.おじり断熱止	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		洗 面 台 内	1.エポキシプライマー 2.熱点めいん (1層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		屋 外 露 出	1.ポリスチレンフォーム被覆 2.被膜テープ 3.ポリスチレンフィルム 4.ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		屋 外 露 出 黒 管	1.熱点めいん (2層) 2.熱点めいん (2層) 3.熱点めいん (2層)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																												
		屋 外 露 出 白 管	1.エ																																																																																																																																		

(18) 建設副産物の処理について

資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。

現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。

また、「再生資源の利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。

工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。

指定副産物（原則として再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物
・がれき類 （コンクリート塊） （アスファルト塊）	・廃プラスチック
・木くず	・ガラス、陶磁器くず
・汚泥	・廃石こうボード
	・金属くず
	・繊維くず

特別管理産業廃棄物

- ・廃石棉等
 - 除去処理

アスベスト含有保温材等（壁突用断熱材は除く）の除去は可能なかぎり粉じん飛散抑制剤で十分に湿潤化した後、手ばらで行う事。手ばら以外の除去（グロブパック方式による除去は除く）の場合は、「改修仕様」9.1.3および「改修指針」9.1.3による。
 - 汚染物処分

（１）除去したアスベスト含有保温材等の処理方法は、「改修仕様」9.1.3（ｂ）（２）及び「改修指針」9.1.3（ｂ）（２）により、密封処理する。
 （２）施工区域内において、アスベスト含有保温材等の断材を高所から移動する場合は、揚重機を使用して、アスベスト含有保温材等を高所より落下させない事。なお、アスベスト含有保温材等の保管、運搬、処分等については、「改修仕様」9.1.3（ｃ）及び「改修指針」9.1.3（ｃ）による。
- ・廃PCB等

「電気事業法：電気関係報告規制」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・提出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※参考受入場所は現場説明書による

建設副産物の処理内容

処 理 内 容	備 考
現場内における分別	
現場内分別保管場所の設置	
現場内分別保管場所までの運搬	
分別保管場所からの積み込み・運搬・処分	
「建設副産物の処置計画届」の作成	下請工事の場合は不要
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要

(19) 完成時の提出図書

a. 完成図は、完成した工事的物に関する情報を整理、記録し、完成時の状態を表現したものであり、工事的物の維持保全及び得たる改修、増設等のための基本情報として使用することを目的として作成する。

b. 完成図の作成
 ※ 作成する（※ 完成図 ・ 保全に関する書類 ・ （ ） ）
 完成図は設計図に準拠して作成するものとし、次の図面を作成すること。
 ※ 配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表、配管図、部分詳細図、平面詳細図、排水経路図、その他監督職員が指示する図面

提出物

様式	サイズ	体裁	部数	備考
原図	A1判	３つ折り図面ケース入り	1	監督職員の指示
施図焼付け	A1判	２つ折り製本	2	
施図焼付け	A3判	２つ折り製本	2	縮小版
電子媒体		CＤ-R DVD-R等	2	データのファイル形式は、原則としてJwwデータ(Jw-cad)及びPDFデータとし、作成要領は監督職員の指示による

c. 完成図に添えて、次のものを提出する。

- 防火区画図、排煙区画図
- 給合図（床、壁、天井、主要展開）
- 建築基準法12条５項の報告に必要な各種図面
- 許認可書類（確認申請書、確認済証、検査済証、省エネ関係、消防関係、その他諸手続、許認可書類一式）
- 完成引渡し書（引渡図書目録、現場組織図、下請自名リスト、主要材料、機器一覧表、その他監督職員が指示する図書）
- 内外装仕上一覧表（採用材料の品質等）

d. 完成図は、原則として工事的物の完成後1か月以内に監督職員に提出する。ただし、提出期限について監督職員の指示がある場合は、それによる。

実際の施工に使用した仕上材料の製造所名、品名、品質、色番等のデータは、完成図の仕上表の備考欄に記載するか、又は別紙一覧表として作成する。

(20) 完成図書

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	冊数・面積等
○ カラー	外部(４) 内部(20)	※ 2・	※ 500万画素以上
・ カメラキャビン板	外観正面(※ 1・)	※ 5・	
・ 航空写真		※ 2・	
・ カラー四切木製パネル	外部() 内部()	※ 2・	
・ カラー半切木製パネル	外部() 内部()	※ 2・	
○ 電子データ	外部() 内部()	※ 2・	※ 500万画素以上

電子データは、フルカラーのBMP形式またはJPEG形式の高画像とし、CD-RまたはDVD-Rにて提供する。

図1 防火区画等貫通部措置

給水管、排水管及び通気管等が防火区画等を貫通する場合の措置は、建築基準法施行令第129条の2の4第1項第7号に規定されており、次のいずれかに該当すること。

- 防火区画等の貫通部分及び両側1m以内を不燃材料で造ること。(右参考図参照)
※ 耐火二層管は不燃材料に該当せず、後述の3.に従う。
- 平成12年建設省告示第1422号に適合すること。(下表)
(難燃材料又は硬質強化ビニル管(VP)を用いる場合)

用途	覆いの有無	肉厚	給水管等の外径		
			防火構造	30分耐火構造	1時間耐火構造
給水管		5.5mm以上	90mm(75)		
		6.6mm以上	115mm(100)		
排水管及び排水管に付随する通気管	無し	4.1mm以上	61mm(50)		
		5.5mm以上	90mm(75)		
		6.6mm以上	115mm(100)	90mm	61mm
		8.0mm以上	90mm(75)		
	径20.5mm以上の鉄板の覆い有り	5.5mm以上	90mm(75)		
		6.6mm以上	115mm(100)		
		7.0mm以上	141mm(125)	115mm	90mm

※表中の()内は適合可能な硬質強化ビニル管(JIS K 6741のVU管を除く)の呼び径寸法を示す。
※呼称寸法未満の給水管等については、JISに適合した硬質強化ビニル管であれば、表中の肉厚に満たなくても同一の性能を有しているものとして取り扱う。

3. 国土交通大臣の認定を受けたものであること。

例1) 硬質強化ビニル管(RF-VP)に防火区画貫通用テープを用いる場合(右参考図参照)

例2) 耐火二層管を認定条件に従って施工する場合
(立管はすべて耐火二層管とし、横管は立管の分岐から1mまでを耐火二層管とし、その延長部分を硬質強化ビニル管とした場合など)

図2 機置の吊り施工例

吊り長さが700mm以上、かつ重量10kg以上の設備機器については四隅を鉛直吊りボルトで支持し、隣り合う2本毎にX状斜材を締め具で壁面に取り付け、天井との相関変位を抑制すること

対象 吊り長さ ≥ 700 mm
機器重量 ≥ 10 kg

※ ただし、

- 天井吊形のファンコイル
- 天井吊形又はカセット形の空気調和機室内機
- 天井隠蔽形全熱交換ユニット

の設置は、上記にかかわらず全て吊り用ボルトで行い、振れ止めを施したものとす

図3 配管埋設参考

埋設深さH・・・

1	300以上
2	600以上
3	以上

図4 弁例

VC-1～VC-5

VC-P

記号	弁の呼び径	B	B	T	t*	t**	ふた
VC-P	25 以下	200φ	—	—	—	—	B 1
VC-1	40 以下	180x180	550	75	75	75	B 1
VC-2			850	100	100	100	
VC-3	50・80	300x300	700	100	100	120	MHA-P300
VC-4			900				
VC-5	100・200	450x450	1,200	120	120	120	MHA-P450

注(イ) 本表のB及びH寸法は、5K仕切弁を対象とする。
(ロ) コンクリート部には、必要に応じ鉄筋を入れる。なおコンクリート部は工場製品でもよい。
(ハ) 樹底部には、必要ある場合は、水抜管を設ける。

図5 異種金属接続部

異種金属接続部は、屋外埋設配管を除き電食防止のため、異種金属接続用絶縁継手を使用すること。使用箇所を下記に示す。

1. 砲金製バルブと塩ビライニング鋼管接続部（コア入りバルブは除く。）

2. 衛生器具（水栓類、便器、洗面器等）接続管と塩ビライニング鋼管接続部

3. マイクロエアベンド及びエアセパレーターと塩ビライニング鋼管接続部

絶縁エルボ又は絶縁オスメスソケットを使用すること。

4. 水道メーター（砲金）、伸縮弁（砲金）、伸縮メーターユニオン（砲金）と塩ビライニング鋼管接続部

5. 水抜きテスト弁と塩ビライニング鋼管接続部

6. 上記以外の異種金属接続部

表1 厨房排気ダクトの板厚

厨房排気ダクト（矩形ダクトに限る）の板厚については、以下による

（単位：mm）

ダクトの長辺	板厚	
	亜鉛鉄板	ステンレス鋼板
450以下	0.6以上	0.5以上
450を超え1,200以下	0.8以上	0.6以上
1,200を超え1,800以下	1.0以上	0.8以上
1,800を超えその他	1.2以上	

※ 原則、アングルフランジ工法にてシールを施すこと

参 考 図

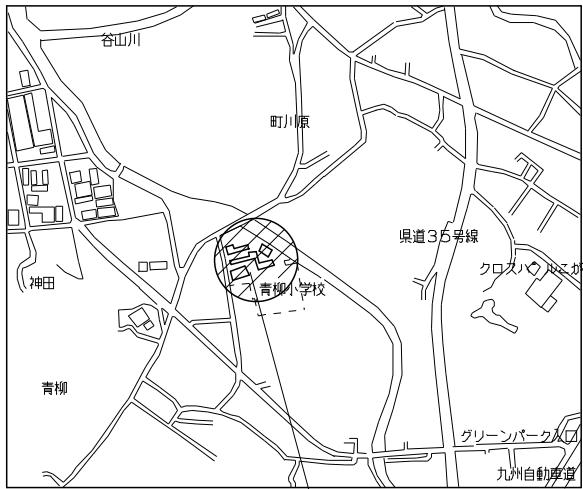
参考図1 水槽類埋設

参考図2 ドロップ掛参考図

（※副管サイズは主管サイズより1サイズ下でも可。）

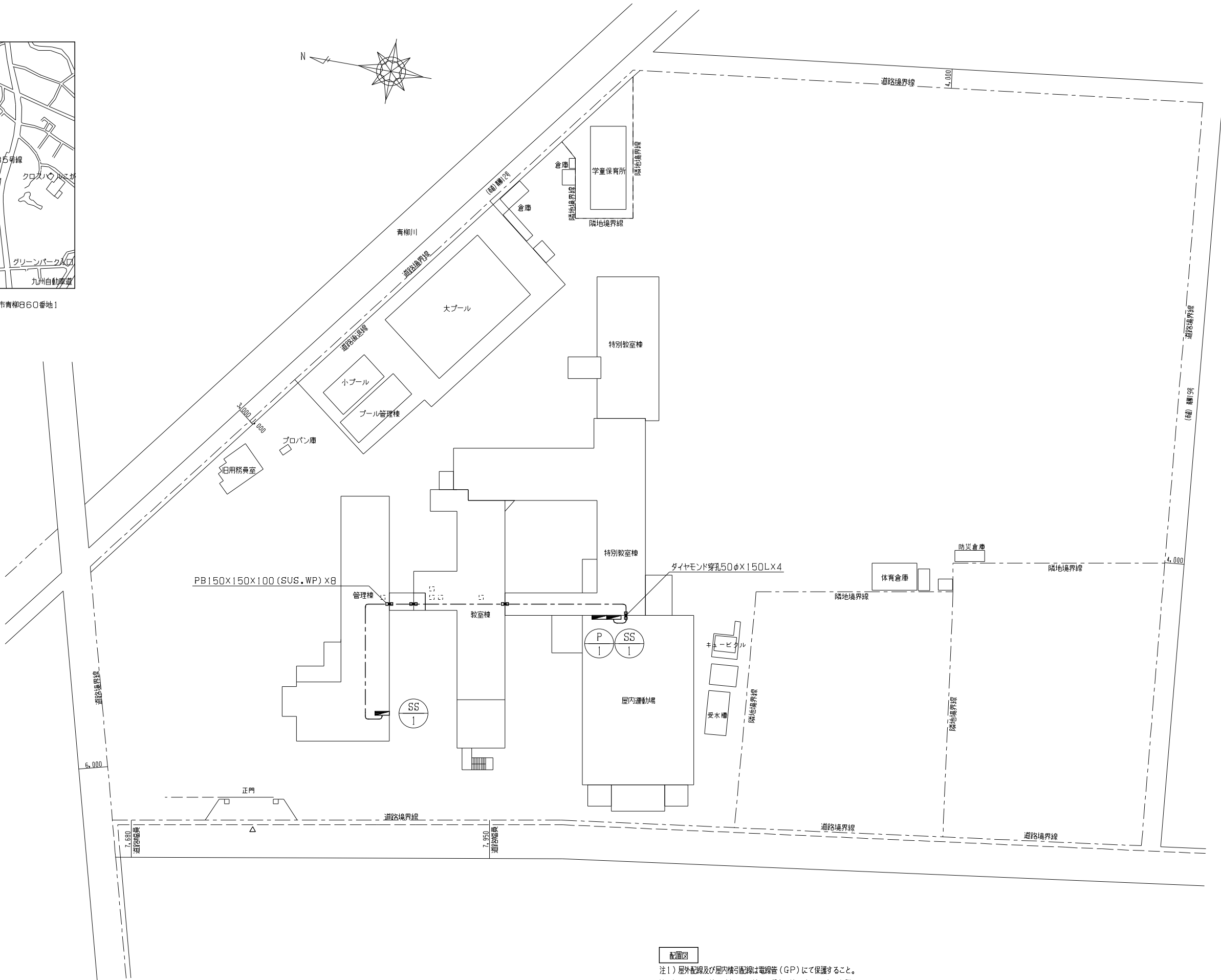
参考図3 小口徑樹取付要領図

令和 年 月 日		特記仕様書-2	
工事名称		青柳小学校 体育館 空調設備設置工事	
工事場所		古賀市青柳860番地1	
設計者	設計者氏名	神崎信二	1級建築士 第323073号
	事務所名	株式会社	海渡設計
	及び所在地	福岡市東区名島2丁目2-8	



工事場所：古賀市青柳860番地1

付近見取図



配置図

注1) 屋外配線及び屋内横引配線は電線管 (GP) にて保護すること。
注2) リモコン配線及び立下り配線は1種金属線び (MMA) で保護すること。



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称

青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

図面名称

配置図・付近見取図

A3 畝

1/800

No

M-03

A1 畝

1/400



日付

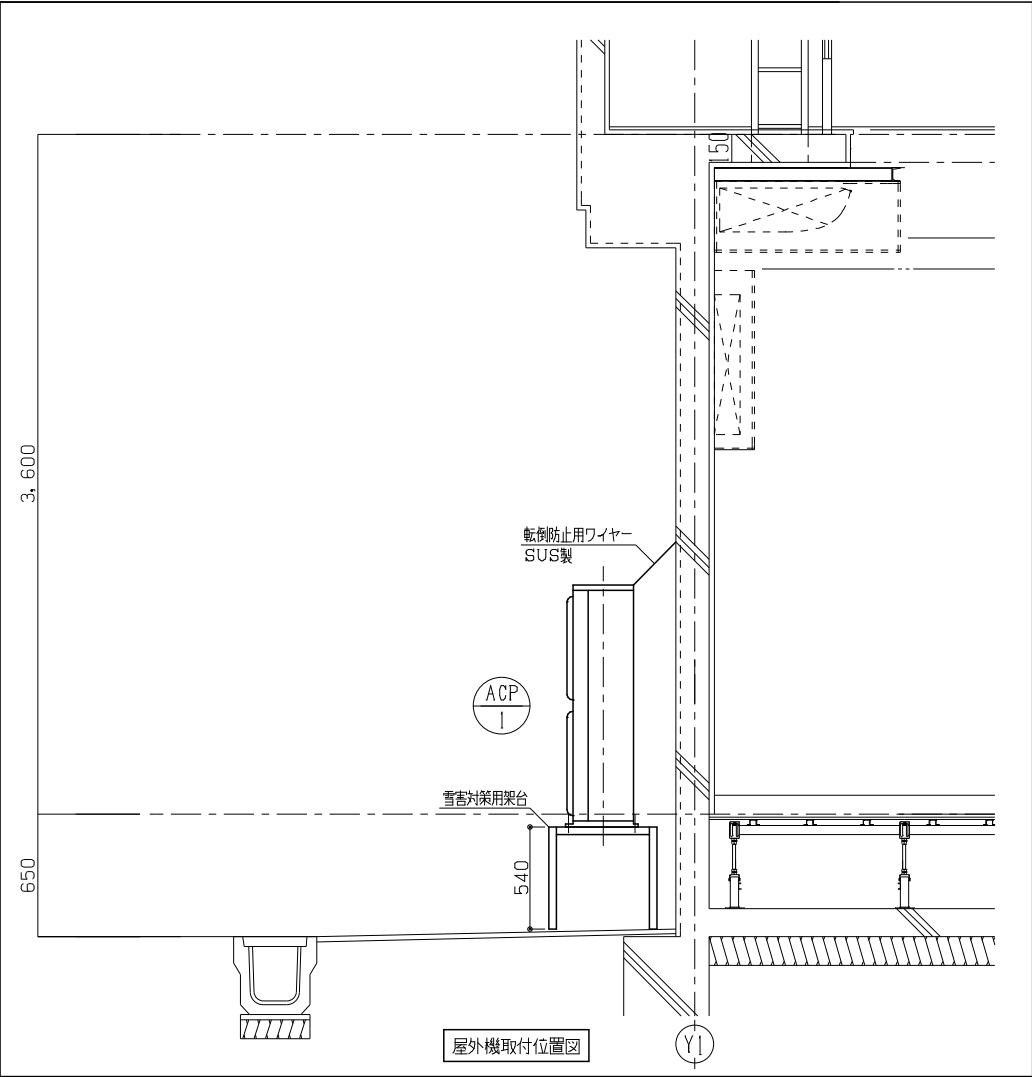
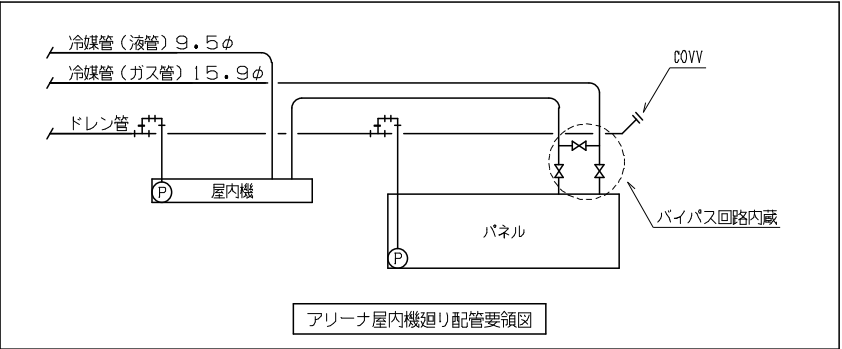
2025年12月

機器表

記 号	名 称	仕 様	電 気 仕 様			設 置 場 所	台 数	備 考
			φ	V	kW			
ACP 1	空冷ヒートポンプ式	天井吊形 ペアタイプ 輻射パネル	冷房能力	3	200	5.71	1階 アリーナ	10
	パッケージエアコン	冷房能力 14.0(～16.0)kW 暖房設備 16.0(～18.0)kW	暖房能力	3	200	4.70		
		標準フィルター、ワイヤードリモコン、防球ガード(屋内機+パネル)、						
		ドレンアップポンプ(屋内機+パネル)、防護ネット、雪害対策用架台、屋外機用防振ゴム						
SS 1	集中コントローラー	他標準付属品一式						
		壁掛型 タッチパネル式	1	100		1階 職員室	1	
		64グループ制御可能、各室の逐層発停、温度設定、スケジュール運転、一括運転停止				1階 アリーナ	1	
P 1	空調課金制御盤	他標準付属品一式						
		付属品 SIMルーター、拡張BOX、UPS、他標準付属品一式						
		注記)						
		1. 冷房・暖房能力は標準条件(JIS B 8616)の能力を示す。						
		2. 新設機器は新冷媒対応品とする。						
		3. 屋外機への電源送りは電気工事とする。						
		4. パッケージエアコンの屋内外渡り配線配管冷媒巻込みとし本工事とする。						
		5. 新設する機器の電気容量は参考値とする。						
		6. グリーン購入法適合品とする。						
		7. 吊り金物が1m以上の屋内機は耐震振れ止めをすること。						
		8. 冷媒配管2mに1箇所、配管架台を設置すること。						
		9. 予備品として空調機の各型番台数の1/2以上の標準フィルターを提出すること。						
		10. 体育館の空調料金を精算するために必要は配線を施し、プリベイドカード精算機を設ける。						
		また、空調機は、プリベイドカードで精算が可能な機器とする。						

凡例

記 号	名 称	仕 様
— R —	冷媒管	屋内一般用 : 冷媒用断熱材被覆銅管 ※屋内・屋外 化肮ケース JIS H 3300
— D —	ドレン管	屋内一般用 : 空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管 (ACVP) JIS K 6742
		屋外配管用 : 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラーVP) JIS K 6741
Ⓜ	個別リモコン	
	集中リモコン	
	空調課金制御盤	
-----	個別リモコン配線	EM-CEES1.25°-2C
-----	渡り配線	EM-CEES1.25°-2C (冷媒管共巻)
-----	集中リモコン配線	EM-CEES1.25°-2C



冷媒管サイズ

記号	液 管	ガス管
①	9.5φ	15.9φ



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1ー30027号

工事名称

青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

図面名称

凡例・機器表

A3 版

N/S

No

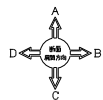
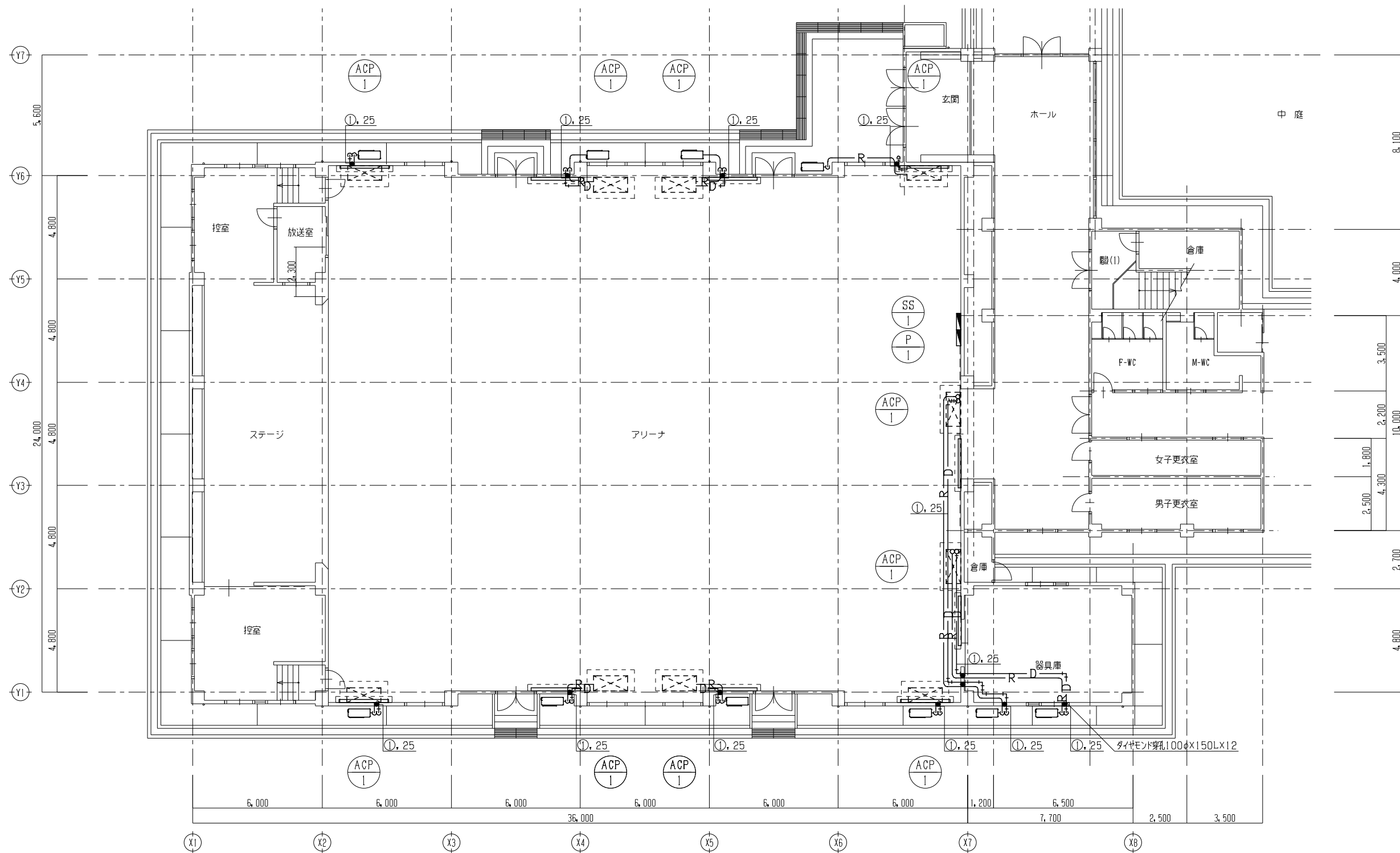
M-04

A1 版

N/S

日付

2025年12月



1階平面図

注1) 冷暖配管ラッキングにおいて屋内露出(アリーナ)は銅板製、屋内露出(アリーナを除く)は樹脂製化粧カバー、屋外露出はステンレス製とする。

冷暖管サイズ

記号	液 管	ガス管
①	9.5φ	15.9φ



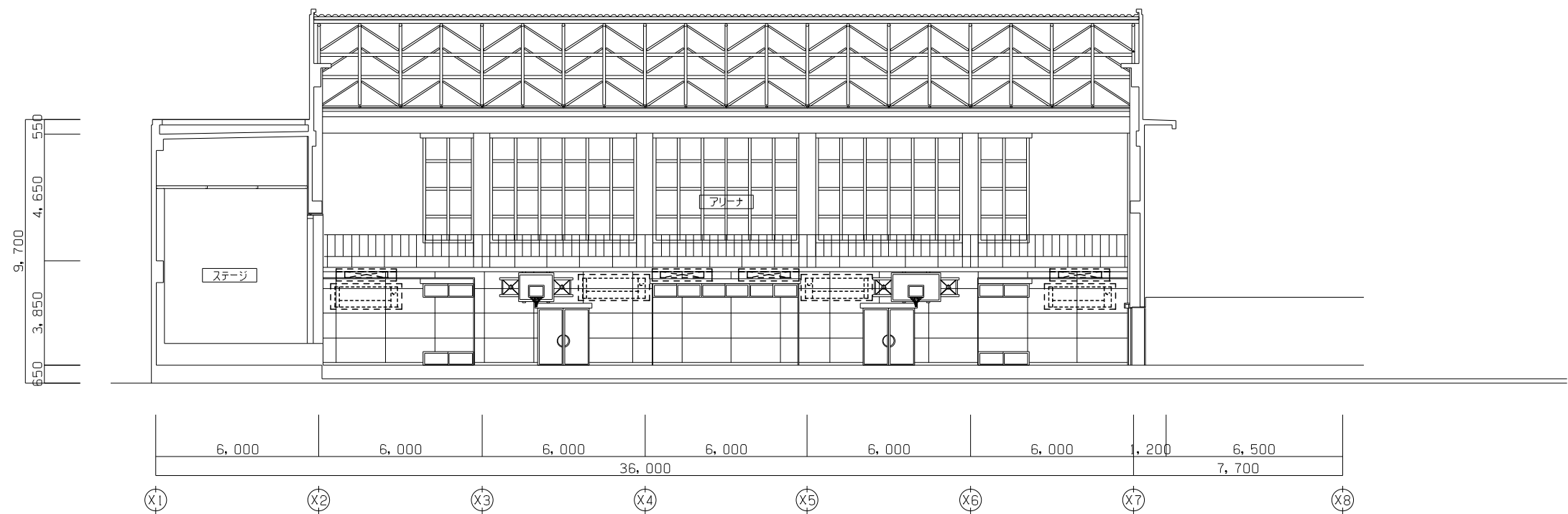
株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

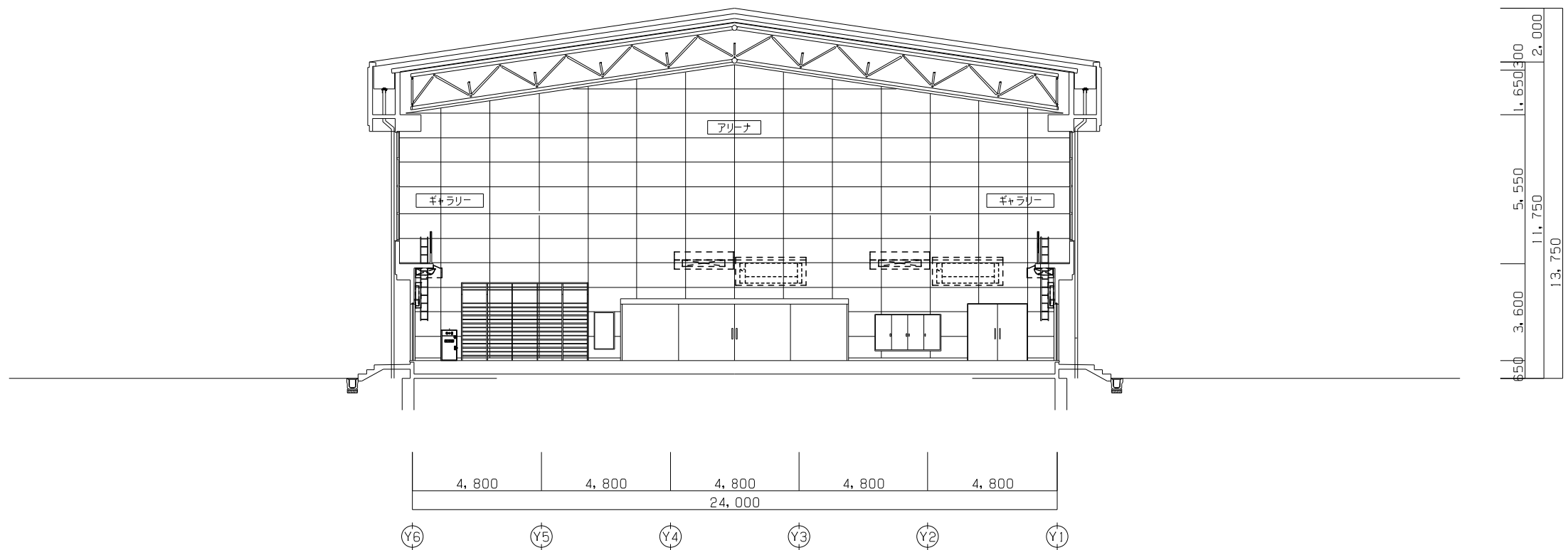
工事名称
青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

図面名称
空調設備 1階平面図

A3 版 1/200	No M-05
A1 版 1/100	日付 2025年12月



A断面図



B断面図



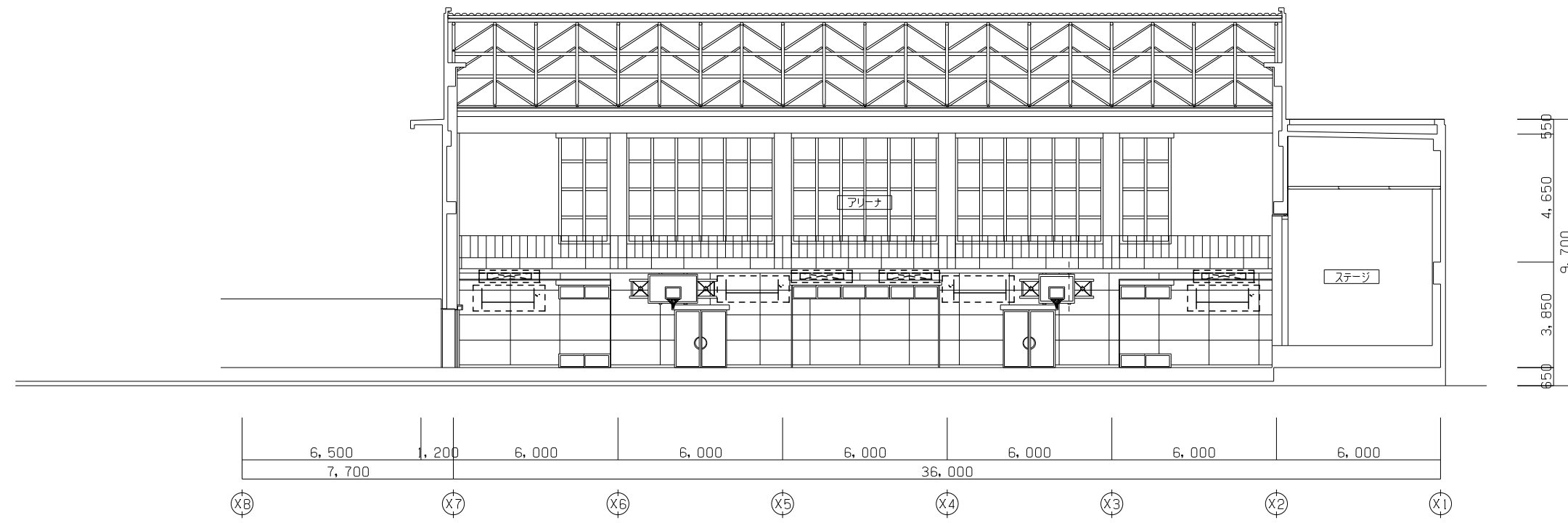
株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

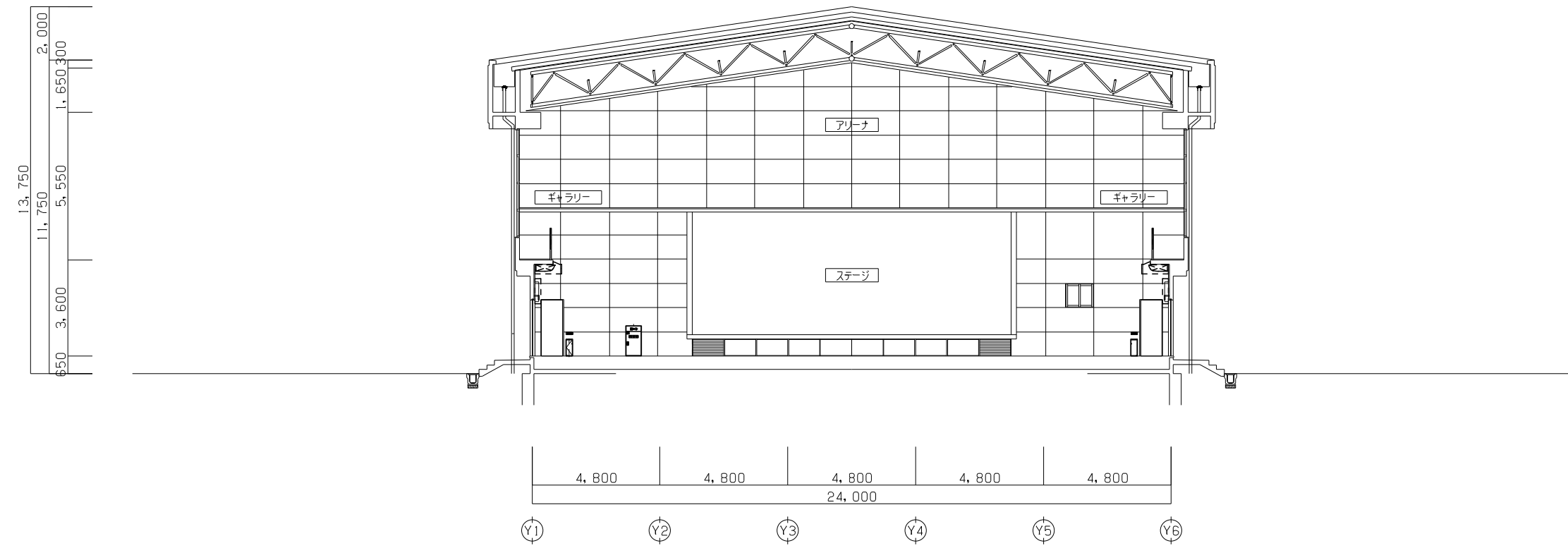
工事名称
青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

図面名称
空調設備 展開図1

A3 畝 1/200	No M-06
A1 畝 1/100	日付 2025年12月



C断面図



D断面図



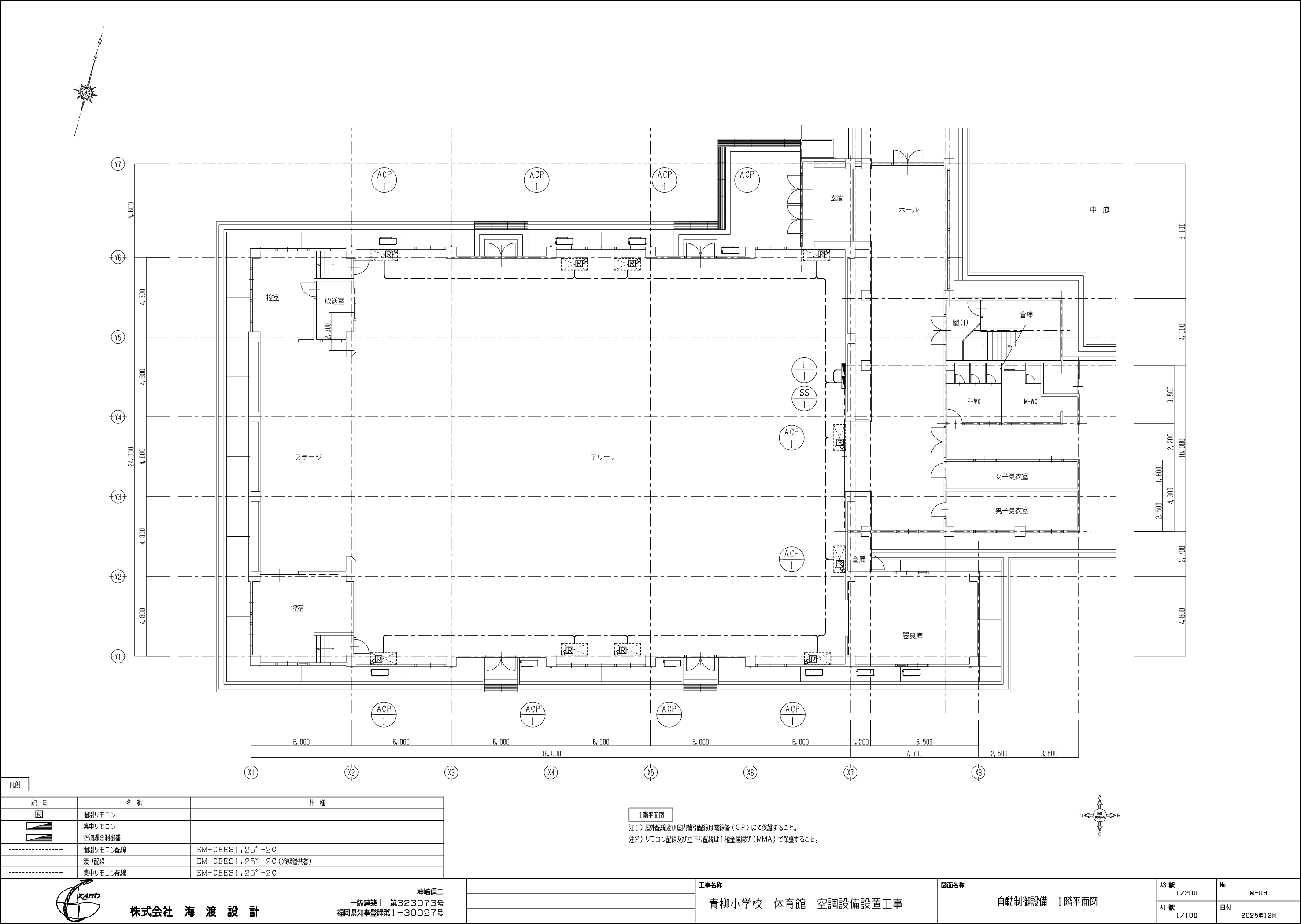
株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

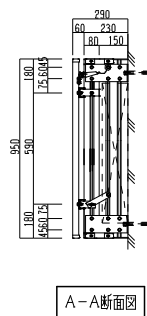
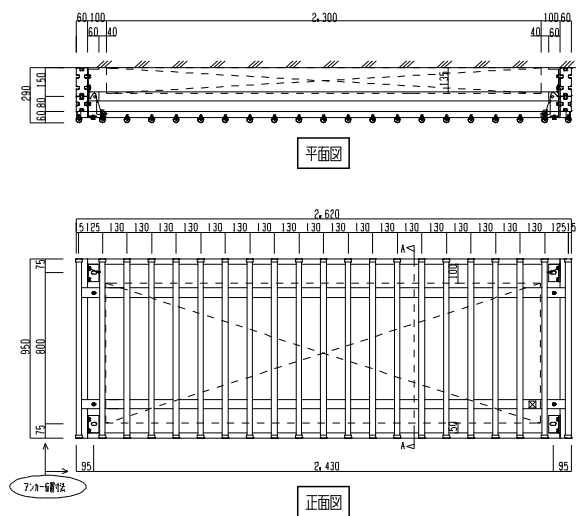
工事名称
青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

図面名称
空調設備 展開図2

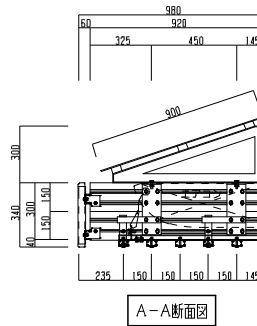
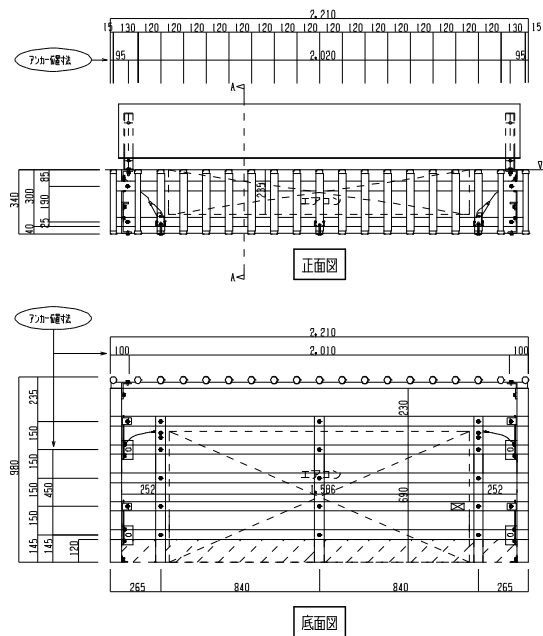
A3 畝 1/200	No M-07
A1 畝 1/100	日付 2025年12月



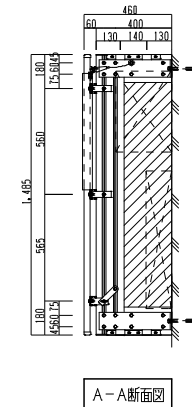
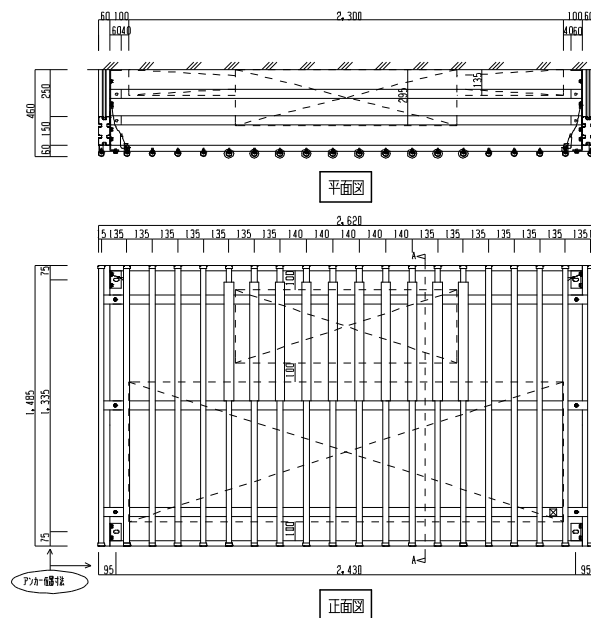
LOWBOY単体用防球格子



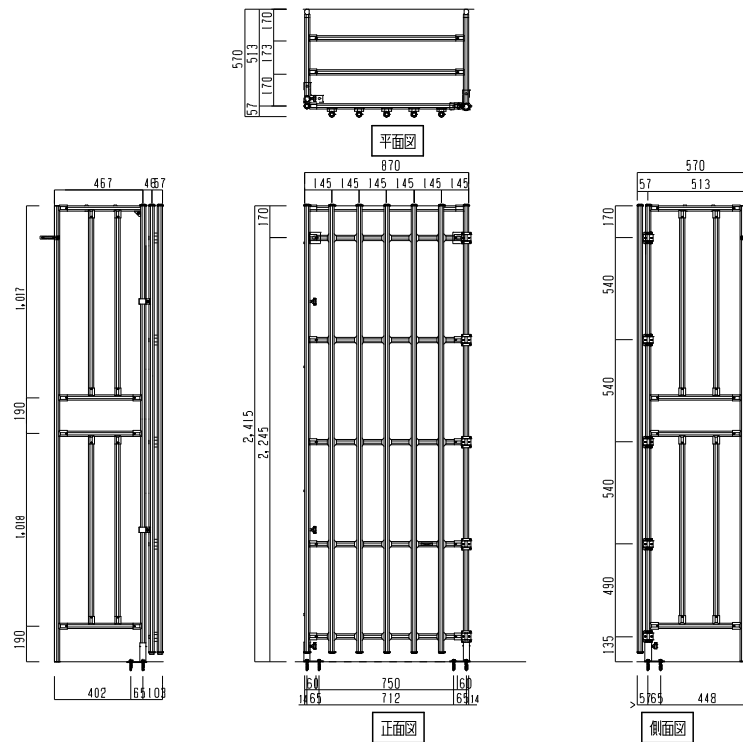
天吊りAC単体用防球格子



LOWBOY+壁掛けエアコン用防球格子（縦型）



床置エアコン用



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称

青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

図面名称

機器防止格子参考図

A3 版

1/40

No

M-09

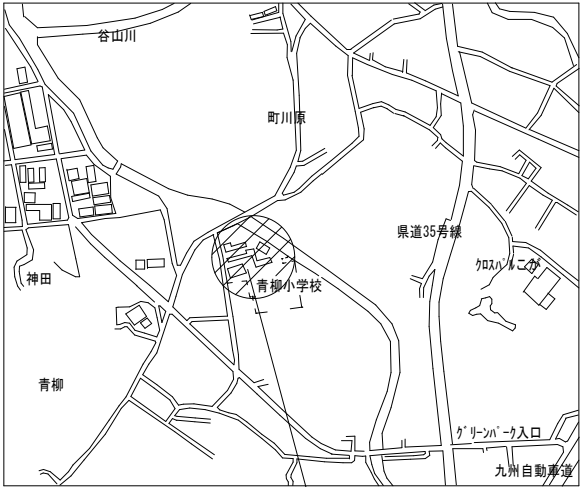
A1 版

1/20

日付

2025年12月

[illegible]

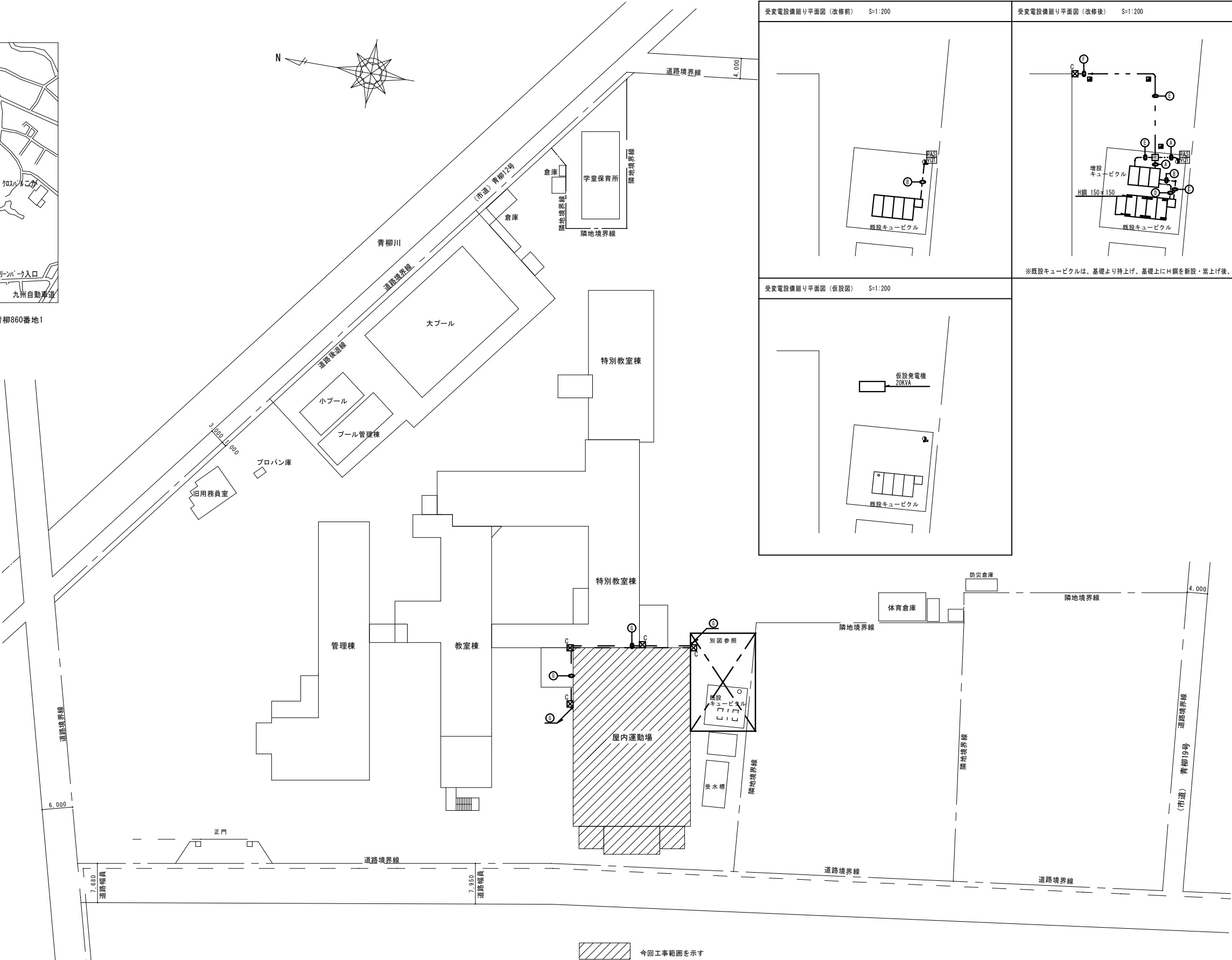


付近見取図

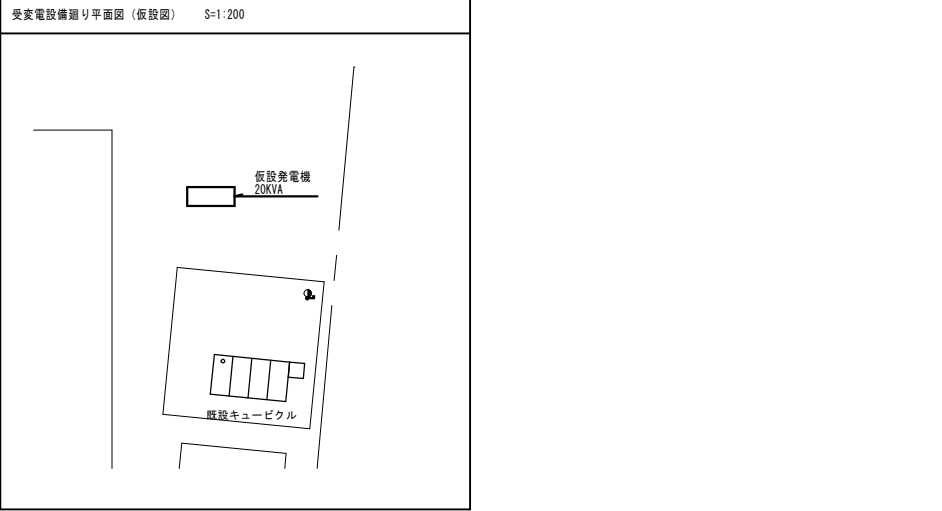
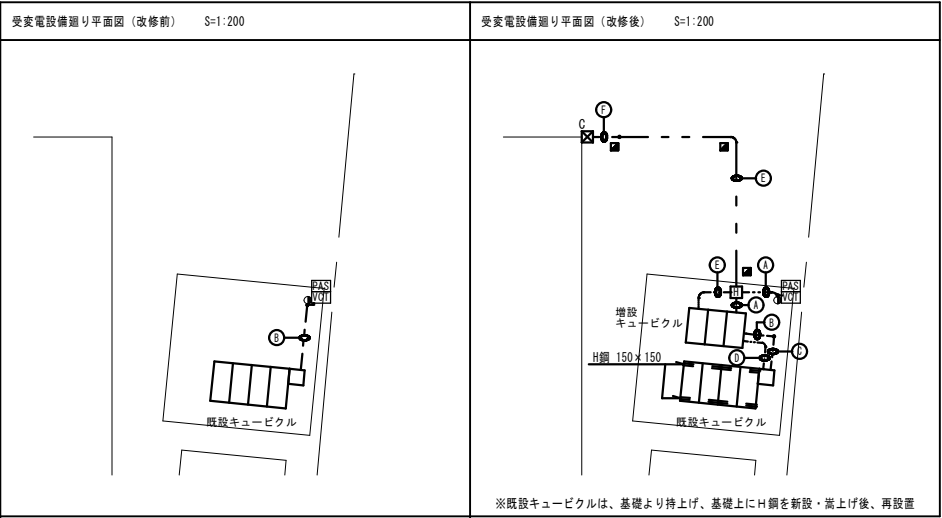
記号	配 線	配 管	名 称
①	6KV EM-CET38'	(FEP100)	高圧引込み
②	既設6KV EM-CET38'	(FEP100)	高圧送り
③	既設6KV EM-CET38'	(既設FEP100)	高圧送り
④	E14' × 2	(FEP40)	EA・ED
⑤	E22' × 2	(FEP40)	EB
⑥	EM-CET100'	(FEP100)	S-1・S-2
⑦	EM-CET100' E14' × 2 (ED・ED (ELB))	(FEP100)	S-3・S-4
⑧	EM-CET100' E14' × 2 (ED・ED (ELB))	(FEP100)	予 備
⑨	EM-CET100' E14' × 2 (ED・ED (ELB))	(G82)	S-1・S-2
⑩	EM-CET100' E14' × 2 (ED・ED (ELB))	(G82)	S-3・S-4
⑪	EM-CET100' E14' × 2 (ED・ED (ELB))	(G82)	予 備
⑫	EM-CET100' E14' × 2 (ED・ED (ELB))	(G82)	S-1・S-2

凡 例		
記 号	名 称	仕 様
□	ハンドホール	H2-9 R8K-60
■	地中埋設機	コンクリート製
⊠	プルボックス	600×600×400WP (SUS)
●	構内引込柱	既設
PAS	高圧気中開閉器	既設
VCI	計器用変成器	既設
---	配管配線	地 中

特 記	
1. 地中埋設配管の深さは、管上GL-600とする。	
2. 既設キュービクルを吊り上げ、建築工事で設置したH鋼(150×150)の上に、再設置を行う。停電時の対策に、仮設発電機20KVAを設置する。	



配置図 S=1/400



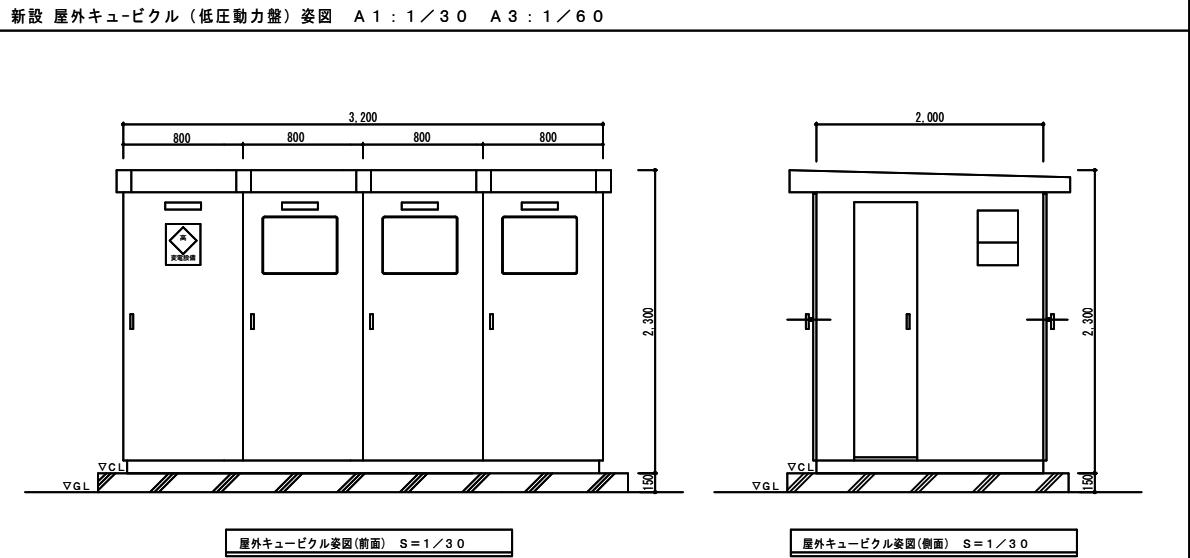
株式会社 海 渡 設 計





神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

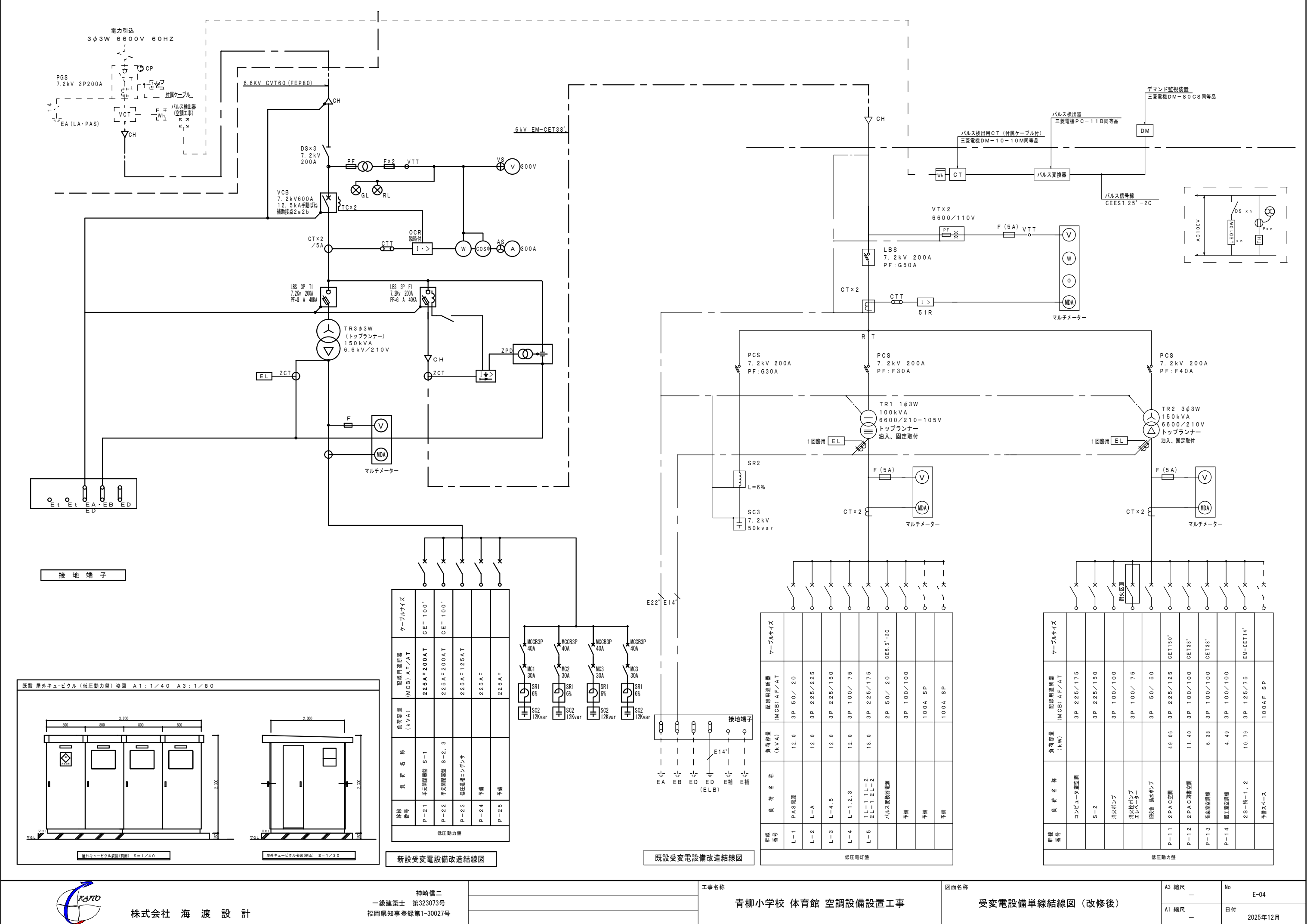
工事名称
青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

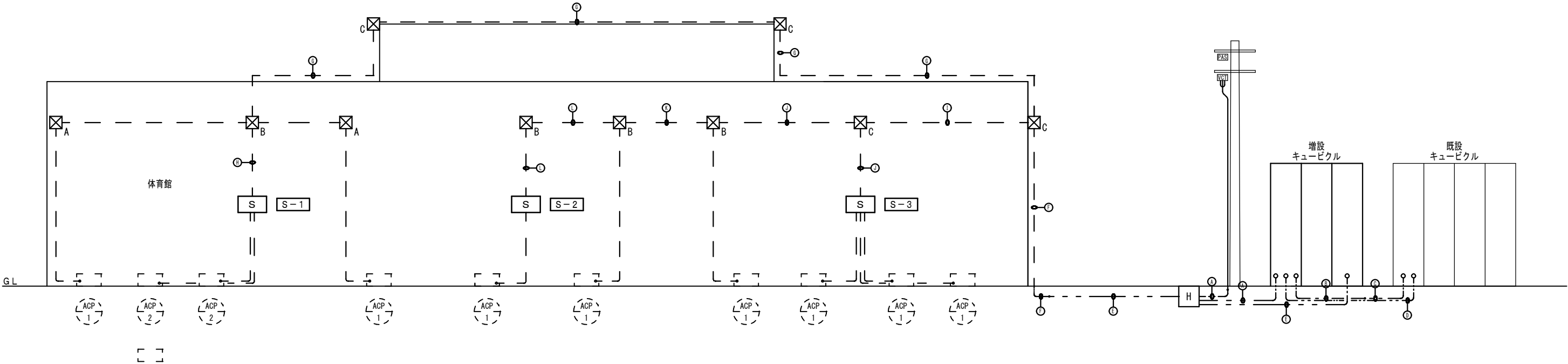
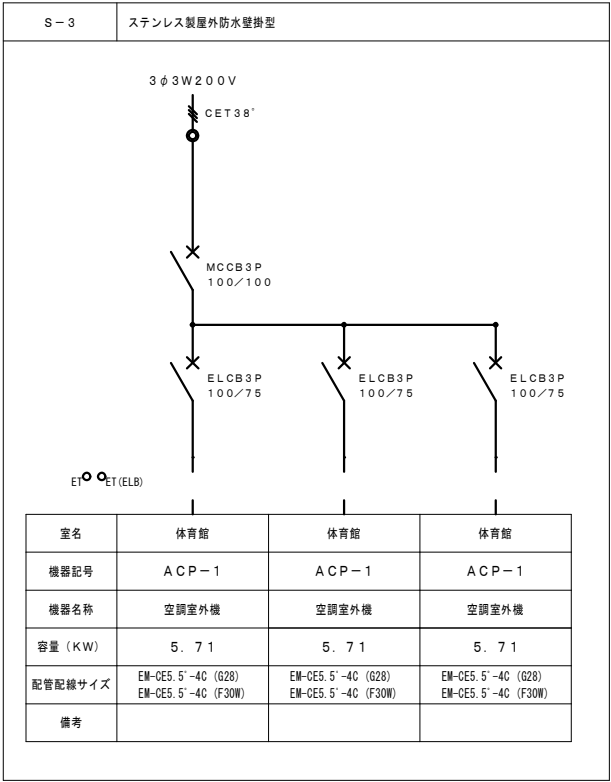
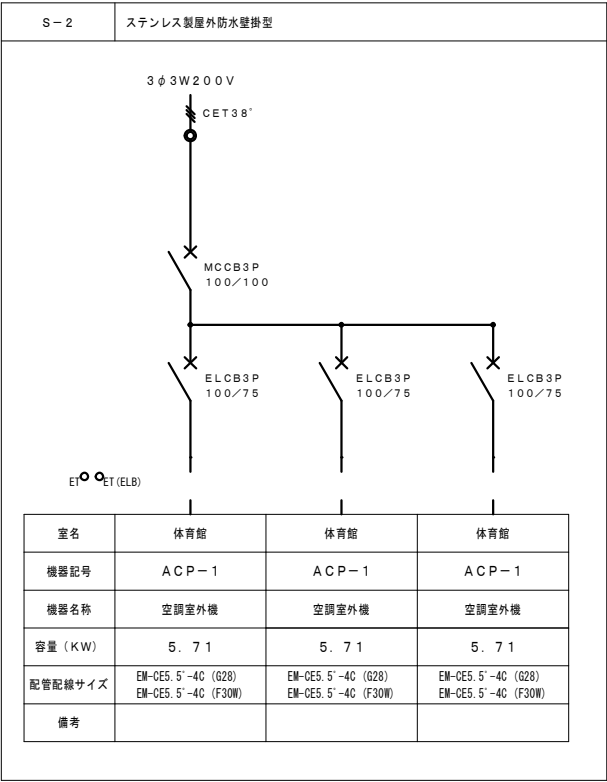
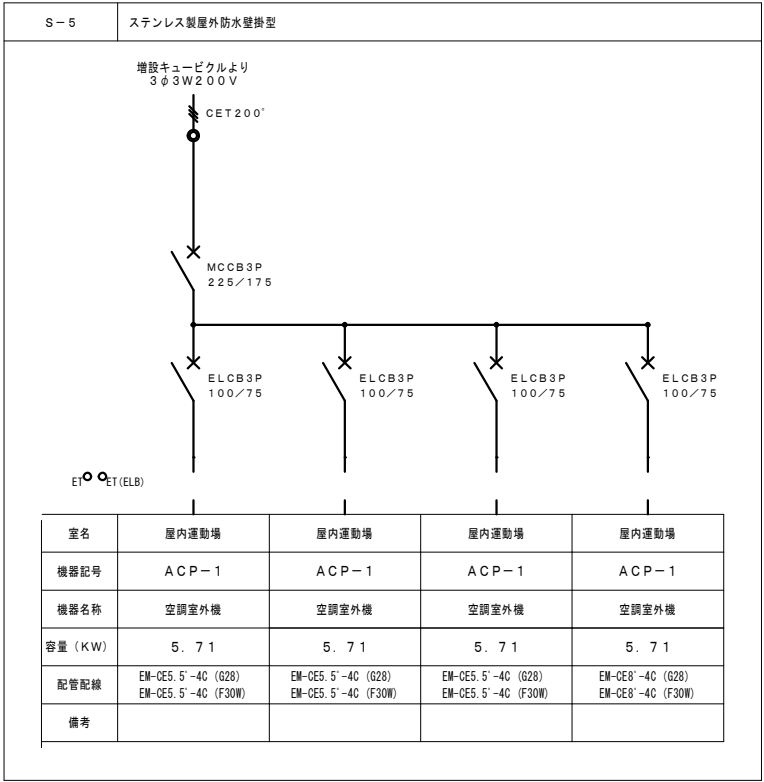
図面名称
配置図・付近見取り図

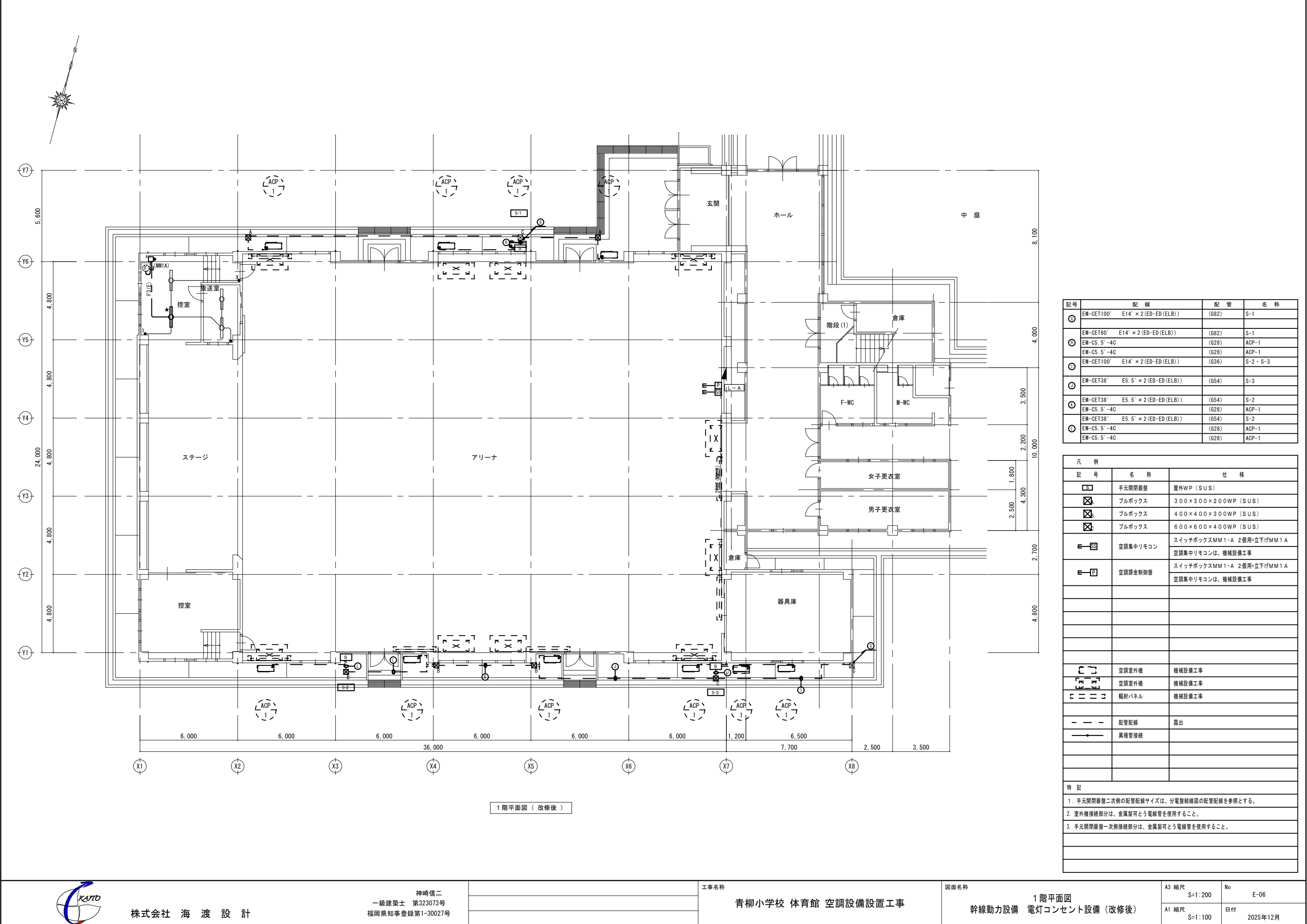
A3 縮尺 S=1:800	No E-02
A1 縮尺 S=1:400	日付 2025年12月



凡 例		
記 号	名 称	仕 様
C H	ケーブルヘッド	
V C T	計器用変圧変流器	
W H	電力量計	
L B S	高圧負荷開閉器	ストライカー付
T R	変圧器	油入自冷式
		(J I S C 4 3 0 4 - 2 0 1 3 トップランナー変圧器)
S C	高圧進相コンデンサー	油入
S R	直列リアクトル	6 % 油入
V T	計器用変圧器	モールド型
C T	計器用変流器	モールド型
Z C T	零相変流器	モールド型
P F	高圧限流ヒューズ	
F	ヒューズ	
L A	送電器	
 COSφ	地絡過電流継電器	方向性
	力率計	
	電力量計	
	電圧計	
	電流計	
MDA	最大需要電流計	警報接点付、瞬時計付
LG I	電灯幹線配線用遮断器トリップ（一括警報）	
PG I	動力幹線配線用遮断器トリップ（一括警報）	







株式会社 海 渡 設 計

神崎 信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称
青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

図面名称
1階平面図
幹線動力設備 電灯コンセント設備 (改修後)

A3 縮尺 S=1:200	No E-06
A1 縮尺 S=1:100	日付 2025年12月

5
建具
改修工事
〔5章〕

1.改修工法の適用
〔5.1.3～5.7〕

2.性能及び構造
〔5.2.2〕

3.材料
〔5.2.3〕

4.形状及び仕上げ
〔5.2.4〕

5.工法
〔5.2.5〕

6.障子取り外し方式

7.性能及び構造
〔5.4.2〕

8.形状及び仕上げ
〔5.4.4〕
〔表5.4.2〕

9.性能及び構造
〔5.5.2〕

10.材料
〔5.5.3〕

11.形状及び仕上げ
〔5.5.4〕

12.性能及び構造
〔5.6.2〕

13.材料
〔5.6.3〕

14.形状及び仕上げ
〔5.6.4〕

15.工法
〔5.6.5〕

16.材料
〔5.7.2〕

14.形状及び仕上げ
〔5.7.3〕

15.工法
〔5.7.4〕

16.材質、形状及び寸法
〔5.8.2〕

17.取付け施工
〔5.8.3〕

18.鍵
〔5.8.4〕

（1節 共通事項）

建具の種類	工 法	備 考
・アルミニウム製建具	・かぶせ工法 ・撤去工法	
・鋼製建具	・外部 ・かぶせ工法 ・撤去工法	
・鋼製軽量建具	・かぶせ工法 ・撤去工法	
・ステンレス製建具	・かぶせ工法 ・撤去工法	

新規建具を設ける壁の開口方法、周囲の補修方法・範囲 ※図面図示による
防火戸の指定、「防犯建物部品」の適用 ※図面図示による
建具見本の製作 ・行う ※行わない
特殊建具の取組 ・行う ・行わない

（2節 アルミニウム製建具）
外部に面する建具

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法（mm）
・A種	S－4	A－3	W－4	※70 ・100
・B種	S－5			
・C種	S－6	A－4	W－5	※100 ・（ ）

防音ドアセット、防音サッシ ・適用する（等級 ） ・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する（等級 ） ・適用しない
耐震ドアセット ・適用する（面内変形追随性等級 ） ・適用しない

網戸 ※合成樹脂製（線径0.25mm以上、網目16～18mm）
・ガラス繊維入り合成樹脂製（線径・網目 ）
・ステンレス製（SUS316）（線径・網目 ）

表面処理 外部 ・BB-1種 ・（ ）
内部 ・AC-1種 ・（ ）
色調 ※シルバー色
結露水処理 ※図面図示による
水切り板、せん板等 ※図面図示による
※内はずし ・外はずし ・図示
学校施設については、内はずしを標準とする。

（4節 鋼製建具）
外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6
簡易気密型ドアセット ※適用する（A-3、W-1） ・適用しない
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する（等級 ） ・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する（等級 ） ・適用しない
耐震ドアセット ・適用する（面内変形追随性等級 ） ・適用しない

鋼板類の厚さ ※表5.4.2による ・図面図示による
（注） 片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は表16.4.2は適用しない。

（5節 鋼製軽量建具）
簡易気密型ドアセット ※適用する（等級：A-3） ・適用しない
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する（等級 ） ・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する（等級 ） ・適用しない
耐震ドアセット ・適用する（面内変形追随性等級 ） ・適用しない

鋼板	めっき付着量
・溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G3302）	※Z06又はF06 ・（ ）
・電気亜鉛めっき鋼板（JIS G3313）	※E24 ・（ ）
・ビニル被覆鋼板（JIS K6744）・SG ・SE	・Z06又はF06 ・E24
・カラー鋼板 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板	※Z06又はF06 ・（ ）
・電気亜鉛めっき鋼板	※E24 ・（ ）

・召合せ、縁小口包み板等の材質
※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出形材

鋼板類の厚さ ※表5.5.1による ・図面図示による
（注） 片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は表16.5.1は適用しない。

（6節 ステンレス製建具）
外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6
簡易気密型ドアセット ※適用する（A-3、W-1） ・適用しない
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する（等級 ） ・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する（等級 ） ・適用しない
耐震ドアセット ・適用する（面内変形追随性等級 ） ・適用しない

材質 屋外 ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 ・（ ）
屋内 ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 ・（ ）

表面仕上げ ※HL ・（ ）

曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

（7節 木製建具）
含水率 ※A種 ・B種

・図面図示による。

ふすま 縁仕上げ ・図面図示による

（8節 建具用金物）
金物の種類及び見え掛り部の材質 ※図面図示する ・表5.8.1
樹脂製建具金物に使用する丁番 ※表5.8.3による

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置
※図面図示による

・マスターキー ※製作する ・製作しない ・既存に合わせる
・鍵の本数 ※3本1組 ・（ ）
・鍵箱（既製品） ・用意する ・用意しない

19.材料
〔5.14.2〕

20.ガラス溝の寸法、形状等
〔5.14.3〕

21.ガラスブロック積み
〔5.14.5〕

22.ガラス用フィルム

23.アルミパネル

⑥内装改修工事〔6章〕

①改修範囲
〔6.1.3〕

2.既存床の撤去及び下地補修
〔6.2.2〕

3.既存壁の撤去及び下地補修
〔6.3.2〕

④施工一般
〔6.5.2〕
・製材

（14節 ガラス）
板ガラス 材料はJIS規格品とし、厚さ・種類等は図面図示による。
ガラス留め材 ・シーリング
・グレイジングガスケット（グレイジングチャンネル形）
・グレイジングガスケット（グレイジングビート形）
溝の大きさ ※建具製造所の仕様 ・（ ）

ガラスブロックの表面形状、呼び寸法及び厚さ、壁用金属枠及び補強材、金属製化粧カバーの材質、寸法、形状 ※図面図示による
化粧目地モルタル色 ・（ ）
目地幅の寸法 ※5.14.5(2)(a)による ・（ ）
伸縮調整目地の位置 ※5.14.5(2)(f)(b)による ・（ ）
目地部の横力骨の納まり ※製造所の仕様による ・図面図示による

名 称	種 類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り・外張り	飛散防止率 D1

品質JIS A 5759による

アルミハニカムパネルとする
表裏アルミ板 t1.0mm 芯材 アルミハニカム

（1節 共通事項）
既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
・ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
※ 図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
・ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
※ 図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
・ 既存のまま
※ 図示の範囲

ビニル床シート等の撤去
※ 仕上材のみ（接着剤とも）

合成樹脂塗床材の除去工法
・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※ 図示による

開口切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※ 改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※ 図示による）

材料のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ウ)(b)による
・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理
		※2級 ・	※A種 ・B種	
		※2級 ・	※A種 ・B種	

・ JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・B種	
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種 ・B種	

・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理
		※1級 ・	※10%以下 ・A種 ・B種	
		※1級 ・	※10%以下 ・A種 ・B種	
		※1級 ・	※10%以下 ・A種 ・B種	

⑤JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	含水率
壁補修箇所 接合縁	現況による	（ ） 造作材の場合（※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・
壁補修箇所 見切材	現況による	（ ） 造作材の場合（※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・
		（ ） 造作材の場合（※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・

・造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	見付け材面	見付け材面の品質
					※1等 ・2等
					※1等 ・2等
					※1等 ・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板：芯材：				※1等 ・2等
		化粧薄板：芯材：				※1等 ・2等
		化粧薄板：芯材：				※1等 ・2等

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板：芯材：				※15%以下 ・
	化粧薄板：芯材：				※15%以下 ・
	化粧薄板：芯材：				※15%以下 ・

・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法（mm）	表面の品質	防虫処理
				・適用する ・適用しない

・ JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法（mm）	表面の品質	含水率	防虫処理
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない

・ JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法（mm）

・「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ（mm）	防虫処理	強度等級
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用 ・適用しない	・適用する （ ） ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の性能	防虫処理
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の性能	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の性能	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（mm）
		※13タイプ ・	※P又はM ・		・15 ・

構造用パネル

施工箇所	品名	寸法（mm）

・MDF

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

⑤接合具等
〔6.5.3〕
造作材の化粧面の釘打ち
※ 隠し釘打ち
・ 釘頭埋め木
・ つぶし頭釘打ち
・ 釘頭現し
諸金物
※ かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度）
・ （形状： 寸法：
材質： ）
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
・

⑥接着剤
〔6.5.3、4〕

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称
青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

図面名称
特記仕様書（3）

A3 縮尺
—
No
A-O 3

A1 縮尺
—
日付
2025年12月

 株式会社 海 渡 設 計

⑥

内装改修工事〔6章〕(続き)

1

7. 防霉・防蟻処理
[6. 5. 5]

・薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
・K2 ・K3 ・K4	
・K2 ・K3 ・K4	
・K2 ・K3 ・K4	

・薬剤の塗布等による防霉・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
※改修標準仕様書6. 5. 5 (1) (b) ②による	※JIS K 1571に適合又は同等品	
・		
・		

・薬剤の接着剤への混入による防霉・防蟻処理

適用部位 ()

・合板等の加圧注入処理等の適用

適用部位 ()

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)

※杉又は松

・床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)

※杉又は松

・

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)

※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

・

・縁甲板及び上がりがまちに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)

※ひのき

・

・壁及び天井下地に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)

※杉又は松

・

12. 軽量鉄骨
天井下地
[6. 6. 2]

・野縁等の種類

屋外

※25形 ・19形

屋内

※19形 ・25形

[6. 6. 3]

屋外の形状及び寸法

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔

・図示による

周辺部の端からの間隔

・図示による

野縁の間隔

・図示による

[6. 6. 4]

既存の埋込みインサート

・使用する ・使用しない

施工アンカーの確認試験

・行う

(試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所)

(確認強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度)

・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合

(補強方法 ※図示による)

・天井のふところが3. 0mを超える場合

(補強方法 ※図示による)

・天井の下地材における耐震性を考慮した補強

(補強箇所 ※図示による)

(補強方法 ※図示による)

13. 軽量鉄骨壁下地
[6. 7. 3]

スタッド・ランナの種類

※改修標準仕様書表6. 7. 1による

スタッドの高さによる区分に応じた種類

・図示による

・

[表6. 7. 1]

スタッドの高さが5. 0mを超える場合

※図示による

[6. 7. 4]

出入口及びこれに準ずる開口部の補強

※改修標準仕様書6. 7. 4 (5) による

14. ビニル床シート
[6. 8. 2、3]

種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考
※FS	・無地	※2. 0	
・	・マーブル柄	・	
	・柄物	・	

目地処理する場合の工法

※熱溶接工法

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
・TT	・無地	・300×300	・2. 0	
・FT	・柄物	・450×450	・2. 5	
※KT		・500×500	・3. 0	
・FOA		・		
・FOB				

15. ビニル床タイル
[6. 8. 4]

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・ゴム床タイル

16. カーベツト敷き
[6. 9. 2][表6. 9. 1]

[6. 9. 3]

[6. 9. 2][6. 9. 3]

17. 合成樹脂塗床
[6. 10. 3]

[6. 10. 4]

シート・タイルの種別

種類

性能

厚さ、寸法、形状 (mm)

・帯電防止床シート

厚さ：

・帯電防止床タイル

寸法： 厚さ：

・視覚障害者用の床タイル

― 形状：

・耐動荷重性床シート

厚さ：

・防滑性床シート

厚さ：

・防滑性床タイル

寸法： 厚さ：

材質の種類

・軟質 ・硬質

高さ (mm)

※60 ・75 ・100

厚さ (mm)

※1. 5以上

種類 ・単層品 ・積層品

色柄 ()

厚さ (mm) ・3. 0 ・4. 5 ・6. 0 ・9. 0

寸法 (mm) () × ()

・織じゅうたん

織り方	パイル形状	帯電性
・ウィルトンカーベツト	・カットパイル	・適用する
・ダブルフェースカーベツト	・ループパイル	・適用しない
・アキスミンスターカーベツト	・カット/ループパイル	

色柄 (※模様のない無地 ・)

パイル糸の繊維種等

※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種)

・

織じゅうたんの接合方法

※ヒートボンド工法 ・つづり縫い

下敷き材

※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ 8mm

・タフテッドカーベツト

パイルの形状	パイルの長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7	・		
・ループパイル	・4～6	・全面接着工法	・適用する	
・カット、ループ併用	・	・グリッパー工法	・適用しない	

下敷き材(グリッパー工法の場合)

※反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm

・

タフテッドカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

・タイルカーベツト

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考
※ループパイル	・第一種		※500×500	※6. 5	
	・第二種		・	・	
・カットパイル	・第一種		※500×500	※6. 5	
	・第二種		・	・	
・カット・ループ併用	・第一種		※500×500	※6. 5	
	・第二種		・	・	

タイルカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

タイルカーベツトの敷き方

平場 ※市松敷き ・模様流し ・ ()

階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・ ()

見切り、押え金物

材質 ()

種類 ()

形状等 ※図示による

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型薄塗材		薄膜流しのペ工法 厚膜流しのペ工法 樹脂モルタル工法	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
弾性ウレタン樹脂系塗床材			
・厚膜型薄塗材		薄膜流しのペ工法 厚膜流しのペ工法 樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
エポキシ樹脂系塗床材			
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

18. フローリング張り
[6. 11. 2～5]

フローリングのホルムアルデヒド放散量等

※改修標準仕様書6. 11. 2 (2) による

・

単層フローリング

種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ
・フローリング ボード1等	・釘留め工法(根太張り)	・	
	・釘留め工法(直張り)	・	
	・接着工法	・	
・フローリング ブロック1等	・接着工法	・	

複合フローリング

種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ
・複合フローリング ボード1等	・釘留め工法(根太張り)	・	※改修標準仕様書6. 11. 2による
	・釘留め工法(直張り)	・	※改修標準仕様書6. 11. 4による
	・接着工法	・	※改修標準仕様書6. 11. 6による

接着工法の場合の不陸緩和材

※合成樹脂発泡シート

現場塗装仕上げ

・ウレタン樹脂ワニス塗り

[6. 11. 6]

19. 0Aフロア

二重床仕様： (・乾式二重床 ・湿式二重床)

床仕上げ高さ＝既設FL+80mm

(70-リツク' 12mm、合板下貼12mmを貼った場合のフローリング上端までの高さ)

床の遮音性能：軽量衝撃音LL-40/ 重量衝撃音 LH-50 程度

90. 耐火間仕切り

耐火構造とする

遮音性を考慮し、壁内にグラスウール (24kg/㎡ 50mm厚) を充填する

(遮音性能 TLD-50程度とする)

上貼面材：強化石膏ボード12. 5mm等の二重張り

下地：軽量鉄骨壁下地 (スタッド65型 ランナー75型)

21. 天井見切縁
(廻り縁)

22. 点検口

23. 黒板及び
ホワイトボード

※福岡県黒板工事特記仕様書の項目を適用する ・図示による

24. 木製建具

芯材：フラッシュユ 面材：オレフィン系シート貼り

引き戸は下部にレールを用いることとする

24. カーテンボックス

材質 ・アルミ製 ・木製 (EP-G塗装)

形状 溝幅90×深さ150

24. カーテンレール

材質 ※ステンレス製 ・アルミニウム製 ・鋼製

形状 ※C型またはD型 ・角型

24. 造作家具類

合板類 ホルムアルデヒド放出量 ※ F☆☆☆☆

MDF、パーティクルボード ホルムアルデヒド放出量 ※ F☆☆☆☆

20. セッコウボード
その他のボード
及び合板張り
[6. 13. 2]

せっこうボード、その他ボード

規格名称	種類	厚さ (mm) 等
木質系セメント板	・硬質木毛セメント板 ・中質木毛セメント板 ・普通木毛セメント板 ・硬質木片セメント板 ・普通木片セメント板	・15 ・20 ・25 ・15 ・20 ・25 ・15 ・20 ・25 ・12 ・15 ・18 ・21 ・30
繊維強化セメント板	・けい酸カルシウム板	タイプ2 (無石綿) ・6 ・8
火山性ガラス質複層板 (VSボード)	・火山性ガラス質複層板	・
繊維板	・ミディアムデンシティ ファイバーボード (MDF)	・3 ・7 ・9 ・12
	・ハードボード (スタンダードボード)	・素地ハードボード (・無研磨板 ・研磨板) ・内装化粧ハードボード (・無研磨板 ・研磨板) ・2. 5 ・3. 5 ・5 ・7
	・ハードボード (テンパーボード)	・素地ハードボード (・無研磨板 ・研磨板) ・内装化粧ハードボード (・無研磨板 ・研磨板) ・2. 5 ・3. 5 ・5 ・7
	・インシュレーションボード	A級 (・天井仕上げ ・内装仕上げ ・) ・9 ・12 ・15 ・18
パーティクルボード	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18
	・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10 ・12
吸音材料	・ロックウール化粧吸音板	・フラットタイプ (・9 (不燃) ・12 (不燃) ・) ・凹凸タイプ (・9 (不燃) ・12 (不燃) ・)
	・ロックウール吸音ボード1号	・25
	・グラスウール吸音ボード32K	・25 (ガラスクロス包)
せっこうボード製品	・せっこうボード	・12. 5 (不燃) ・15 (不燃)
	・不燃積層せっこうボード	・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様) ・9. 5 (不燃)
	・シージングせっこうボード	・12. 5 (不燃)
	・強化せっこうボード	・12. 5 (不燃) ・15 (不燃)
	・せっこうスラブボード	・9. 5
	・化粧せっこうボード(木目)	模様 (・柾目 ・板目) 専用下地材有り
	・化粧せっこうボード	・12. 5 (不燃) 幅440mm程度 (トラバーチン)
	・化粧せっこうボード	・9. 5 (準不燃)

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

表面への化粧張り等の加工

※図示による


合板

種類	規格	防虫処理
・普通合板	表板の樹種名 板面の品質 厚さ ※図示による ・ (mm)	・行う ・行わない
・天然木化粧合板	化粧板の樹種名 厚さ ※図示による ・ (mm)	・行う ・行わない
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能 () 厚さ ※図示による ・ (mm)	・行う ・行わない

[6. 13. 2]

[表6. 13. 1]

[6. 13. 2]



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二

一級建築士 第323073号

福岡県知事登録第1-30027号

工事名称

青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

図面名称

特記仕様書 (4)

A3 縮尺

—

No

A-0 4

A1 縮尺

—

日付

2025年12月

⑥内装改修工事〔6章〕(続き2)

[6.13.2]

合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(3)(イ)の(a)～(d)のいずれか

[6.13.3]

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
天井ボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
合板類の張付け・A種・B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ベベルエッジ・スクエアエッジ
ホルムアルデヒド放散量※F☆☆☆☆

施工箇所	壁紙の種類							防火性能	備考
	紙	織	塩化ビニル	ガラス繊維	無機質	その他			
	・	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・	・	・		

モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種類
※B種・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種類
※B種・A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種類
※B種・A種

モルタル
・現場調合材料・既調合材料
既製目地材
・設ける 施工箇所()形状(※図示による)
・設けない

壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理

床の目地
・設ける
目地割り
※2m程度(最大目地間隔※3m程度)
目地の種類
※押し目地
・設けない

伸縮目地の位置
床タイル(※縦、横とも4m以内ごと・図示による)
床タイル以外(・図示による)

見本焼き・行う(施工箇所:)・行わない
試験張り・行う(範囲、仕様等は図示による)・行わない
・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考
			I類	II類	III類	施す	有	無	
		・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合モルタル(品質・性能、試験方法は別表による)
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材(品質・性能、試験方法は別表による)
壁タイル張りの工法
内装タイル・密着張り・改良圧着張
内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り・モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考
			I類	II類	III類	施す	有	無	
		・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
塗厚(mm)
・()

[6.14.3]

22.モルタル塗り[6.15.3、5、6]

[6.15.5]

[6.15.6]

23.タイル張り[6.16.2]

[6.16.3]

[6.16.4]

24.セルフレベルリング材塗り[6.17.2、3]

7塗装改修工事〔7章〕

1.材料[7.1.3]

(1節 共通事項)
塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆(屋内)・()
防火材料の指定
・指定する※屋内の壁及び天井の塗料仕上材は防火材料とし、建築基準法に基づく指定又は認定のあるものとする。
・指定しない

(2節 下地調整)
・木部・鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面・モルタル面、プラスター面・コンクリート面、ALCパネル面・コンクリート面、押出成形セメント板・せっこうボード及びその他ボード面
・継目処理工法(新規)※RA種・RB種・RC種
・上記以外・RA種※RB種・RC種

(3節 素地ごしらえ)
・木部・鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面・モルタル面及びせっこうプラスター面・コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面・せっこうボード面及びその他ボード面
(4節 錆止め塗料塗り)
・鉄鋼面※種別は表7.4.1による
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)・A種※B種
・亜鉛めっき鋼面※種別は表7.4.2による
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)※A種・B種

【鉄鋼面】
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)及びつや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)
・新規塗装 見え掛り部分※A種・B種・C種
・"見え隠れ部分"※A種※B種・C種
・塗装替え 屋外※A種・B種・C種
・耐候性塗料塗り(DP)
・新規塗装面※A種・B種・C種
・塗装替え・A種・B種・C種

【亜鉛めっき鋼面】
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)及びつや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)
・新規塗装 鋼製建具等※A種・B種・C種(共通)
・"上記以外"・A種※B種・C種(SOP塗の場合)
・"上記以外"・A種・B種※C種(EP-G塗の場合)
・塗装替え・A種・B種※C種(共通)

(5節 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP))
・新規 屋外※A種・B種・C種(多孔質広葉樹除く)
・新規 屋内・A種※B種・C種(多孔質広葉樹除く)
・新規 多孔質広葉樹・A種・B種・C種
・塗装替え 屋外・A種※B種・C種
・塗装替え 屋内・A種※B種・C種

・新規・A種※B種・C種
・塗装替え・A種※B種・C種
・塗装替え 鋼製建具※A種・B種・C種
・塗装替え その他・A種※B種・C種

(6節 グリヤラッカー塗り(CL))
表7.6.1・A種※B種

(7節 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD))
表7.7.1・A種※B種

(8節 耐候性塗料塗り(DP))

適用箇所	下地調整	種別	上塗り塗料等級	
・鉄鋼面	・表7.2.2 RA種	・A種	・1級(ふっ素樹脂)	
	・表7.2.2 RB種	・B種	・2級(シリコン樹脂)	
	・表7.2.2 RC種	・C種	・3級(β'リウリン樹脂)	
・亜鉛めっき鋼面	・表7.2.3 RA種	・A種	・1級(ふっ素樹脂)	
	・表7.2.3 RB種	・B種	・2級(シリコン樹脂)	
	・表7.2.3 RC種	・C種	・3級(β'リウリン樹脂)	
・コンクリート面	・表7.2.6 RB種	・A-1種	・1級(ふっ素樹脂)	
		・B-1種		・2級(シリコン樹脂)
		・C-1種		
・押出成形セメント板	・表7.2.6 RC種	・A-2種	・3級(β'リウリン樹脂)	
		・B-2種		
		・C-2種		

(9節 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G))
・コンクリート面、モルタル面、プラスター面、石こうボード面、その他ボード面等
表7.9.1・A種※B種・C種
※塗装替えの場合のしき止め(※7.9.2(2)による)
・木部(屋内) 表7.9.2 新規※A種・B種・C種
塗装替え・A種※B種・C種
・鉄鋼面(屋内) 表7.9.3・A種※B種・C種
・亜鉛めっき鋼面(屋内) 表7.9.4・A種※B種・C種

(10節 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP))
表7.10.1・A種※B種・C種
※塗装替えの場合のしき止め(※7.9.2(2)による)

13.工程種別[7.9.2～5][表7.9.1～4]

14.工程種別[7.10.2]

⑧環境配慮改修工事〔9章〕

15.工程種別[7.11.2]

(11節 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC))
表7.12.1・A種※B種

15.工程種別[7.12.2]

(12節 スティン塗り(ST))
・ピグメントスティン塗は、表7.12.1による
・オイルスティン塗は、製造所の仕様による

16.工程種別[7.13.2]

(13節 木材保護塗料塗り(WP))
表7.13.1・A種※B種

①一般事項[9.1.1]

(1節 石綿含有建材の除去工事)
適用基準
大気汚染防止法及び労働安全衛生法に基づく石綿を含有する、石綿含有吹付け材(石綿含有仕上塗材を除く。)、石綿含有保温材等(石綿を含有する保温材、耐火被覆材及び断熱材)及び石綿含有成形板等及び石綿含有仕上塗材(以下「石綿含有建材」という。)の除去工事に適用する。
石綿等の取扱については、大気汚染防止法(昭和43年6月10日法律第97号)(以下「大防法」という。)、廃棄物処理法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則(平成17年「石綿則2月24日厚生労働省令第21号」)以下という。その他石綿処理に関するとともに、下記マニュアル等に従い諸法令を遵守する施工に当たること。
ア 建築物等の解体に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル
イ 石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)(環境省)(厚生労働省・環境省)
石綿粉じん濃度測定
※行う(測定箇所数()箇所)
※行わない

2.除去工事共通事項[9.1.2]

石綿作業主任者、特別管理産業廃棄物管理責任者を選定した際は、資格証明書の写しを監督員に提出する。

3.石綿含有吹付け材除去工事[9.1.3]

除去工法
※適用基準参照
※9.1.3(2)(7)による
処分方法
※管理型最終処分場で特別管理型産業廃棄物として埋立処分
・中間処理(溶融処理又は無害化処理)
飛散防止措置
※湿潤化・固形化

4.石綿含有保温材等の除去[9.1.4]

除去工法
※適用基準参照
※原形のまま手ばらし
・9.1.31による(手ばらし以外の場合、石綿含有吹付け材に準ずる)
処分方法
※管理型最終処分場で特別管理型産業廃棄物として埋立処分
・中間処理(溶融処理又は無害化処理)
飛散防止措置
※湿潤化・固形化

5.石綿含有成形板等の除去[9.1.5]

除去工法
※適用基準参照
※手ばらし
処分方法
・せっこうボード※管理型最終処分場で埋立処分
・成形板等(せっこうボード除く)※安定型もしくは管理型最終処分場で石綿含有産業廃棄物として埋立処分
・中間処理(溶融処理又は無害化処理)

6.石綿含有外壁仕上塗材の除去

除去工法
※適用基準参照
処分方法
・安定型もしくは管理型最終処分場で石綿含有産業廃棄物として埋立処分

7.PCB含有シーリング材処分

(1)事前調査等
シーリング材のサンプルについて、専門分析機関で分析を行うこと。
分析によりPCBの含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理すること。
・現場においてサンプルを採取
採取箇所※外壁目地・図示・()
採取箇所数※部材が異なる毎に1箇所・図示・()
(2)施工調査等
調査範囲※図示・()
処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査等を行うこと。
a シーリング使用部位の確認 b シーリングの長さの確認
c 施工範囲と工事管理区分の確認 d 廃棄物等の搬出方法 e 仮設計画

8.材料[9.2.2]

(2節 外断熱改修工事)
断熱材の種類

材料名	種類	厚さ(mm)
・	・	・

外装材の種類

・	防火性能
・	・

9.既存外壁の処置[9.2.3]

既存外壁仕上材の撤去・あり・なし
下地面の清掃・行う・行わない
欠損部の改修工法・()
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による
不陸等の下地調整・()
断熱材の施工
・断熱材製造所の仕様による
・()
外装材の施工
・外装材製造所の仕様による
・()
通気層の有無
あり()mm・なし
外装材の外壁への取付け
・図示による・()
笠木の施工
・改修特許仕様書第3章 アルミニウム製笠木による
・()

10.工法[9.2.4]

11.断熱材打込み工法[9.3.2]

(3節 断熱・防露改修工事)
フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆・()
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆・()
断熱材 JIS A 9521に基づく発砲プラスチック断熱材
種類・()
厚さ(mm)・()
施工場所・()
断熱材の種類・A種1・A種1H
吹付け厚さ(mm)・25・30
施工箇所・図示による
断熱材 JIS A 9521に基づく発砲プラスチック断熱材
種類・()
厚さ(mm)・()
・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル材質・()
厚さ(mm)・()
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法・()
断熱材へのボードの張付け工法・()
(4節 屋上緑化改修工事)
植栽基盤及び材料
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の種類等
※図示による
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
※図示による
(品質・性能、試験方法は別表による)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による
かん水装置
・設置する(種類)
既存保護層の撤去
・行う・行わない

12.断熱材現場発砲工法[9.3.3]

13.断熱材後張り工法[9.3.3]

14.材料[9.4.2]

15.工法[9.4.3]

16.新緑芝及び地被類の枯補償[9.4.4]

⑨その他工事

①フェンス
・ネットフェンス ②メッシュフェンス
・メッキの上、樹脂コート仕上げとする

②防球格子
材質 ③アルミニウム・ステンレス(SUS 304)
①輻射冷暖房パネル用防球格子は
ecowin HYBRID LOWBO(エコファクトリー)に対する防球格子、
HL-GW(W2620*0290*H950)同等品とする
②エアコン用防球格子は
天井吊りエアコン(W1586*0690*H235程度)に対する防球格子、
C-BG(エコウィン)(W2210*0980*H340)同等品とする
③エアコン取付用ブラケット、エアコン防球格子取付用ブラケットは、
上記2点(4個)のブラケットがセットされた
「天吊りエアコン・防球格子用 壁面支持用ブラケット架台」(エコウィン)
同等品を使用するものとする。
(ブラケット形状:三角ブラケット H300*0800 L=50*50 t=4mm SOP塗装)
ブラケットは、機器重量及び作用荷重を考慮し、RC躯体に直接樹脂アンカー
固定とする。(取付部分の壁仕上げは撤去すること)

③鉄骨下地ユニット
④本図面に示す納まり・寸法は、設備位置に従い、施工時に調整のうえ施工
すること。必要に応じ、監督員の承諾を得ること。
⑤鉄骨は溶融亜鉛めっき(どぶ付け)仕上げとし、現場にてSOP塗装を施すこと。
⑥躯体への取付は、天井吊下箇所はウェッジ式懸吊下用アンカー、壁への
取付は樹脂アンカーにて行うこと

④発生材処理
アルミニウムパネル新設における撤去材のガラス等、外構工事の撤去材の
フェンス、支柱、独立基礎等の小口発生材の運搬・処分は、撤去工事に含め
るものとする。

⑤あと施工アンカー
引抜試験
あと施工アンカーについては、施工品質確認のため、必要に応じて引抜試験
を実施するものとする。
試験箇所数、試験荷重および判定基準については、施工前に監督員の承諾を
得ること。
なお、試験に供したアンカーは本設に使用しないものとし、試験結果は書面
にて提出すること。

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

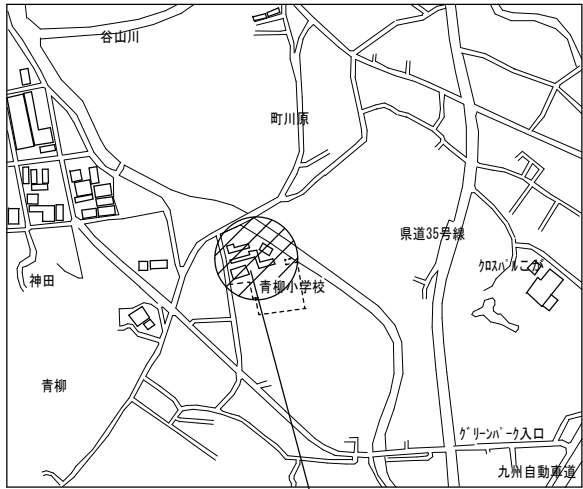
株式会社 海 渡 設 計

青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

図面名称
特記仕様書(5)

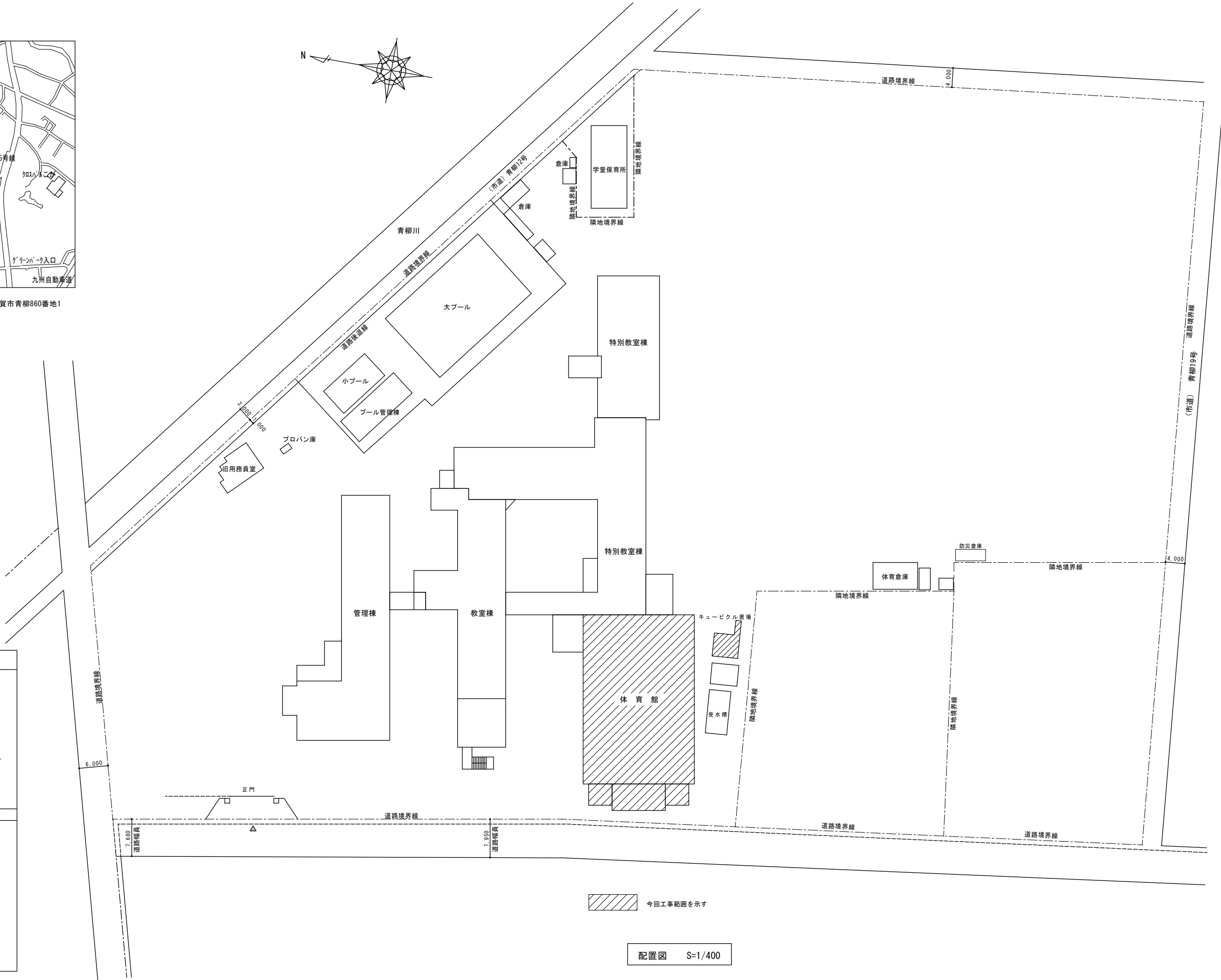
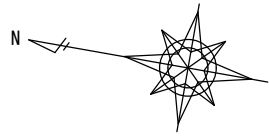
A3 縮尺
—
No
A-O 5

A1 縮尺
—
日付
2025年12月



付 近 見 取 図

工事場所：古賀市青柳860番地1



工事概要	
工事名称	青柳小学校 体育館 空調設備設置工事
工事場所	古賀市青柳860番地1
地域地区等	都市計画区域内 市街化調整区域 建ぺい率 60% 容積率 200% 用途地域：指定なし 防火地域：指定なし
敷地面積	合計 18,477.399㎡
体育館	
RC-S造1F (昭和58年6月図面)	
建築面積	1,168.43㎡
延べ面積	1,107.105㎡
工事内容	空調設備設置工事 内部改修工事 外構工事

今回工事範囲を示す

配置図 S=1/400



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称
青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

図面名称
青柳小学校
工事概要・付近見取図・配置図

A3 縮尺 S=1/800	No A-06
A1 縮尺 S=1/400	日付 2025年12月

■改修概要（青柳小学校 体育館）空調設備改修

1) 外部の改修	・キュービクル用基礎 新設 ・基礎回り 土間コンクリート 新設 ・フェンス 新設		2) 内部の改修	・エアコン・防球格子 取付下地 新設 ・壁：下地・仕上 一部撤去・補修 ・エアコン支持ブラケット 新設 ・エアコン防球格子取付用ブラケット 新設 ・エアコン用 防球格子 新設	・輻射冷暖房パネル用 防球格子 （新設） ・窓ガラス撤去の上、アルミ製ハニカムパネル 新設
----------	--	--	----------	---	--

■構造概要（青柳小学校 体育館）空調設備改修

地業	基礎	躯体	屋根	備考
砂利事業	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	

■外部仕上表（青柳小学校 体育館）空調設備改修

<div></div>	エブロン	幅木	壁	軒天	パラペット	屋根	外部開口部	備考
改修前	【玄関ポーチ】 モルタル金コテ仕上（既存のまま） （階段部分 ノンスリップタイル） 【一般出入口部】 コンクリートコテ仕上（既存のまま） 【犬走り】 モルタル金コテ仕上（既存のまま） 北面一部：既設置器質レンガタイル貼（既存のまま）	コンクリート打放し下地補修の上 吹付タイル（既設のまま） 北面一部：既設置器質レンガタイル貼（既存のまま）	RC面：コンクリート打放し下地補修の上 吹付タイル（既存のまま）	軽天下地 ケイカル板t=6.0 EP-G塗（既存のまま） 【玄関】 軽天下地 ケイカル板t=6.0 EP-G塗（既存のまま）	【天端】 コンクリート打放し下地補修の上 アクリルゴム系防水塗料塗布（既存のまま）	フッ素銅板 t=0.4 折版丸ハゼⅡ型（既存のまま） 下地：アスファルトルーフィング22kg/品（既存のまま） 【玄関庇：平場】 アスファルト防水 D-2 シルバー（既存のまま） 【玄関庇：立上】 防水モルタル t=20（アルミ押工金物）（既存のまま）	窓ガラス（撤去）	フェンス （一部撤去）
改修後	—	—	—	—	—	—	アルミ製ハニカムパネル（新設）	キュービクル用基礎（新設） 基礎回り 土間コンクリート（新設） フェンス（新設）

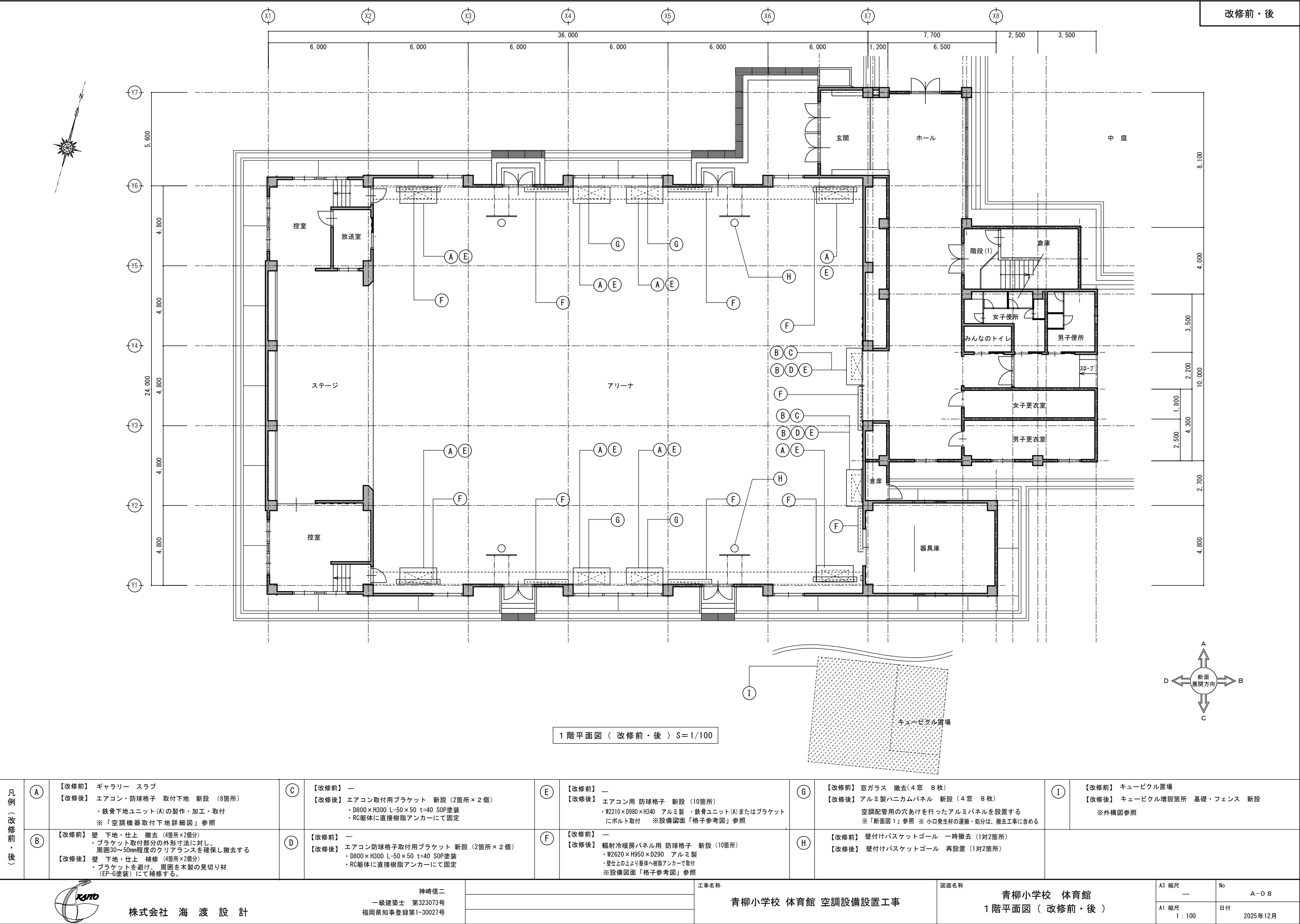
■内部仕上表（青柳小学校 体育館）空調設備改修

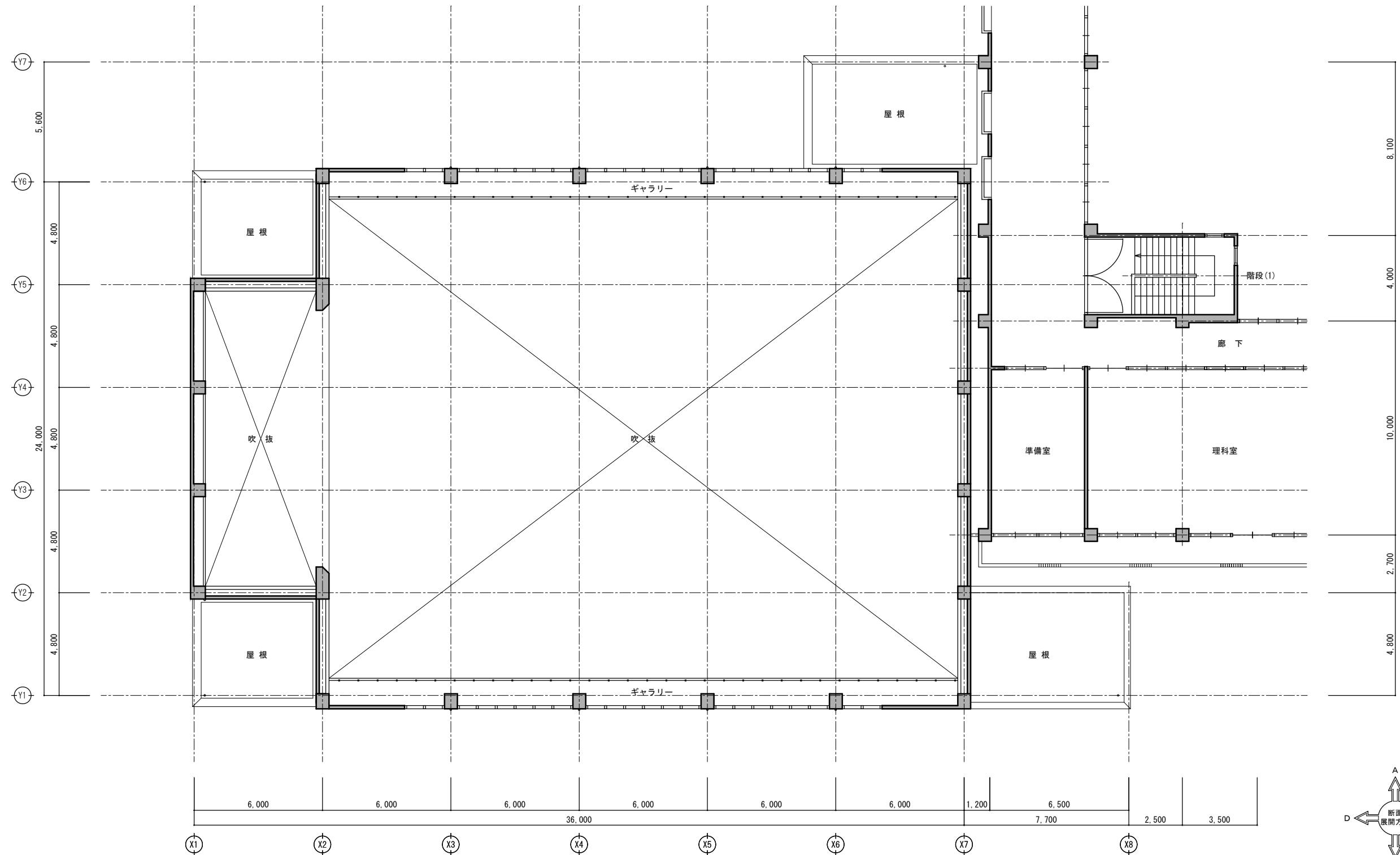
階	<div></div>	室名	床		巾木		内 壁			外 壁 内 部			廻縁	天 井			備 考	
			区分			H	区分		塗装	区分		塗装		区分		塗装		天井高
1階	改修前	アリーナ	下地	鋼製床組 H=500（既存のまま） ベースボードt=21捨張（既存のまま）	木製巾木（既存のまま）	100	下地	木組下地（一部撤去）		下地	木組下地（既存のまま） グラスウールt=50充填 寒冷紗貼（既存のまま）		木製	屋根裏	グ'ラXON'グ'-ド' t=15mm（既存のまま） 鉄骨現し（既存のまま）	結露防止塗料		壁付けバスケットゴール（一時撤去）
			仕上	ナラフローリング t=15張 ウレタン3回塗り（既存のまま）	EP-G塗り		仕上	シナ合板t=9 目透し張り（一部撤去） 有孔シナ合板t=9 目透し張り（一部撤去）	EP-G	仕上	シナ合板t=9 目透し張り（既存のまま） 有孔シナ合板t=9 目透し張り（既存のまま）	EP-G		屋根内側ハチマキ部	RCの上モルタル金ゴテ仕上	AEP		
	改修後		下地	—	—		下地	木組下地（一部補修）		下地	—		—	屋根裏	—	—	空調設備等 取付下地（新設）、エアコン取付用ブラケット（新設） エアコン用防球格子（新設）、エアコン防球格子取付用ブラケット（新設） 輻射冷暖房パネル用防球格子（新設）、壁付けバスケットゴール（再設置）	
			仕上	—	—		仕上	シナ合板t=9 目透し張り（一部補修） 有孔シナ合板t=9 目透し張り（一部補修）	—	仕上	—	—		屋根内側ハチマキ部	—	EP-G		
ギャラリー階	改修前	ギャラリー	下地	RC（既存のまま）	モルタル金コテ AEP塗り	100	下地	木組下地（既存のまま）		下地	R C（既設のまま）		木製	下地	グ'ラXON'グ'-ド' t=15mm（既存のまま） 鉄骨現し（既存のまま）	結露防止塗料		
			仕上	コンクリート金ゴテ仕上（既存のまま）		仕上	シナ合板t=9 目透し張り（既存のまま） 有孔シナ合板t=9 目透し張り（既存のまま）	EP-G	仕上	モルタル金ゴテ（既存のまま）	EP-G	仕上		RCの上モルタル金ゴテ仕上	AEP			
	改修後		下地	—	—		下地	—		下地	—		—	下地	—	—		
			仕上	—	—		仕上	—	—	仕上	—	—		仕上	—	—		

略 語				防 火 認 定 番 号	
S O P	合成樹脂調合ペイント塗り	E P-G	つや有成成樹脂エマルションペイント塗り	石膏ボード t=12.5	不燃 NM-8619
E P	合成樹脂エマルションペイント塗り			化粧石膏ボード t=9.5	準不燃 QM-0524
N A D	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り			シーキング石膏ボード t=9.5	準不燃 QM-9828

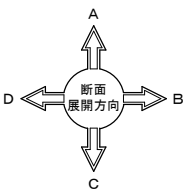
	株式会社 海 渡 設 計	神崎信二 一級建築士 第323073号 福岡県知事登録第1-30027号

工事名称	青柳小学校 体育館 空調設備設置工事	図面名称	青柳小学校 体育館 仕上表（ 改 修 前 ・ 後 ）	A3 縮尺 — No A-O 7
A1 縮尺 — 日付 2025年12月				





2階平面図（改修前・後）S=1/100



凡例
（改修前・後）

改修なし



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称

青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

図面名称

青柳小学校 体育館
2階平面図（改修前・後）

A3 縮尺

—

No

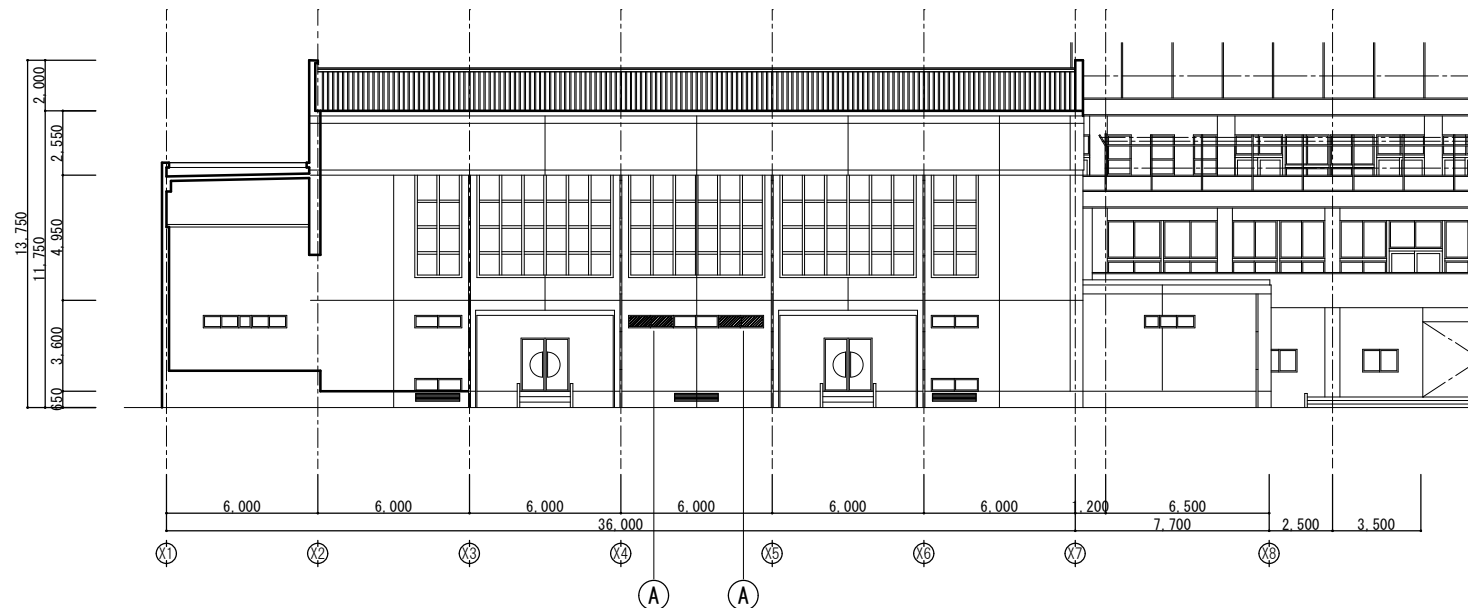
A-09

A1 縮尺

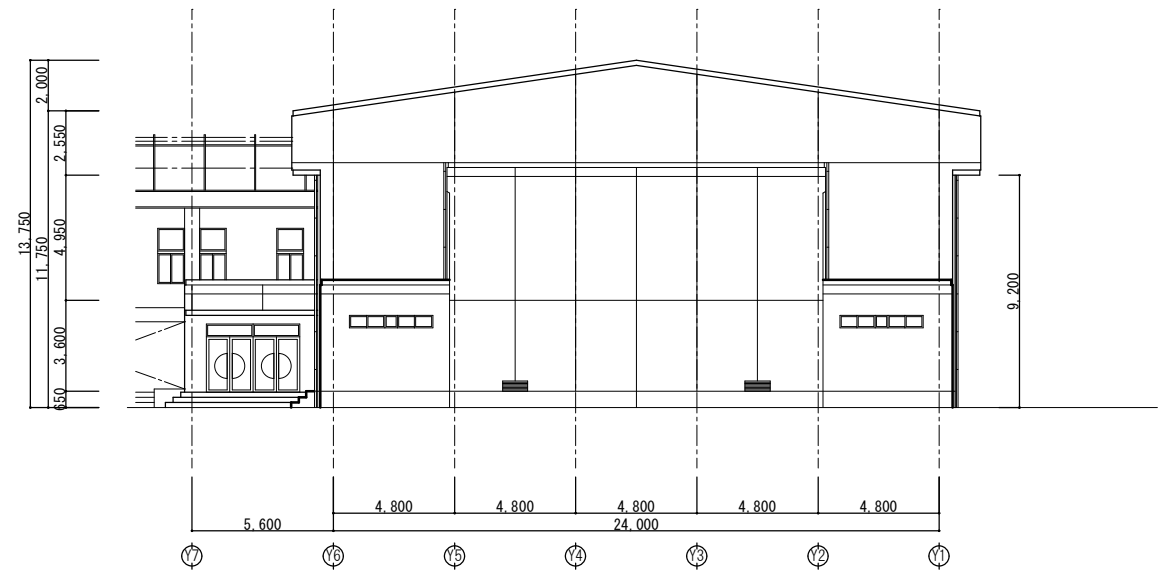
1:100

日付

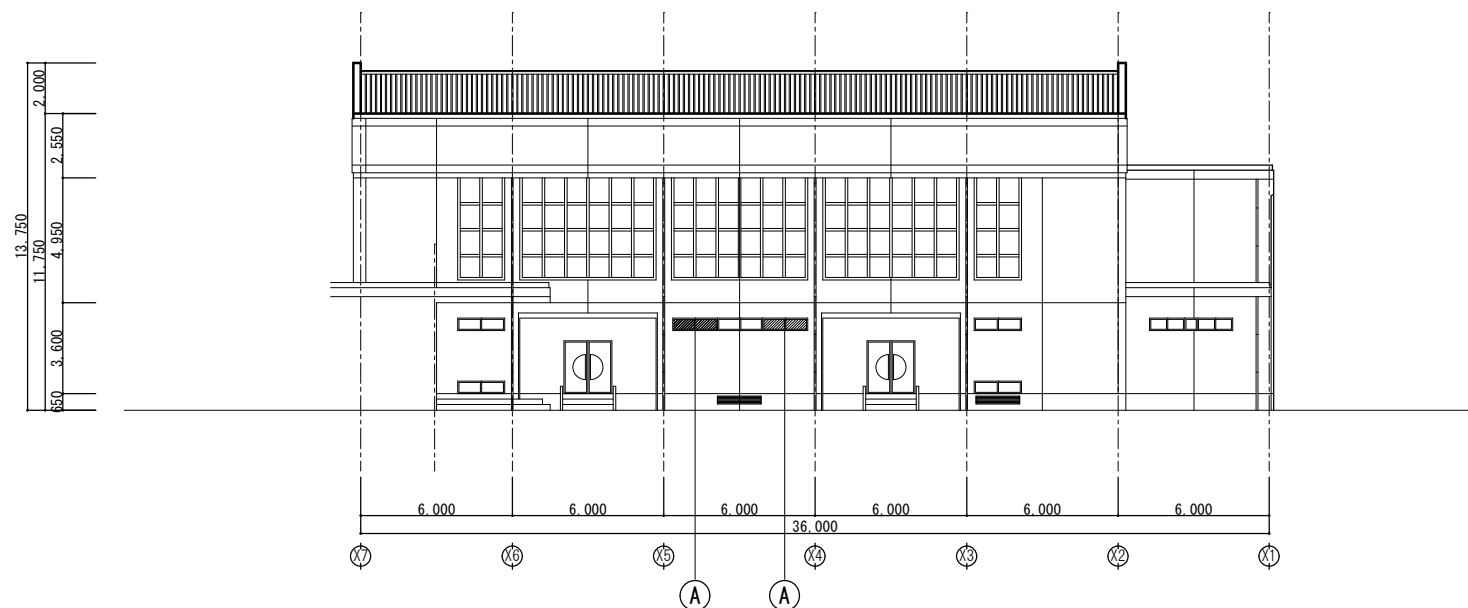
2025年12月



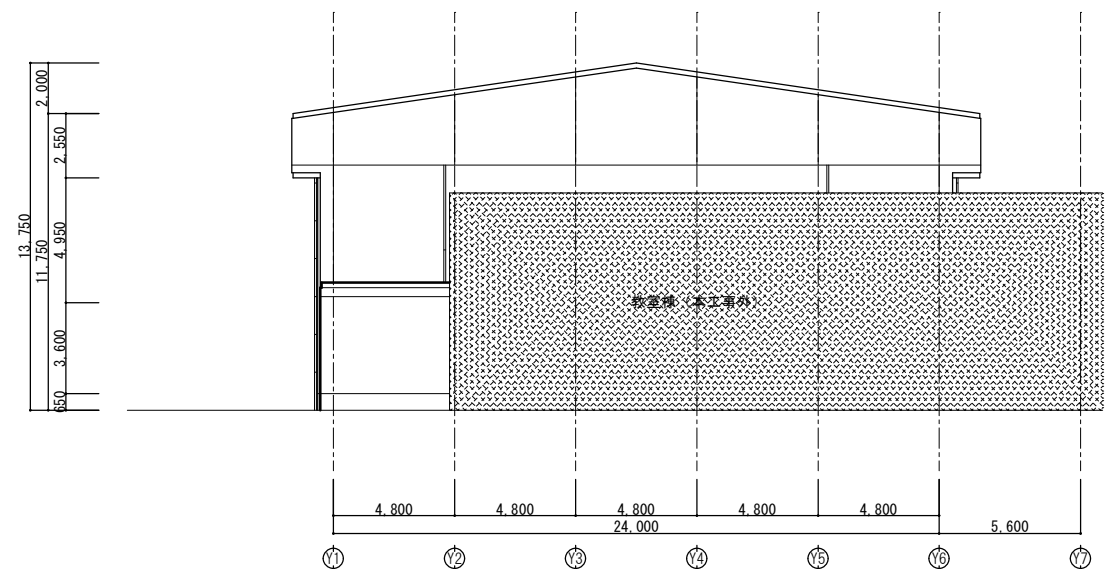
南側立面図 (改修前・後) S=1/150



西側立面図 (改修前・後) S=1/150



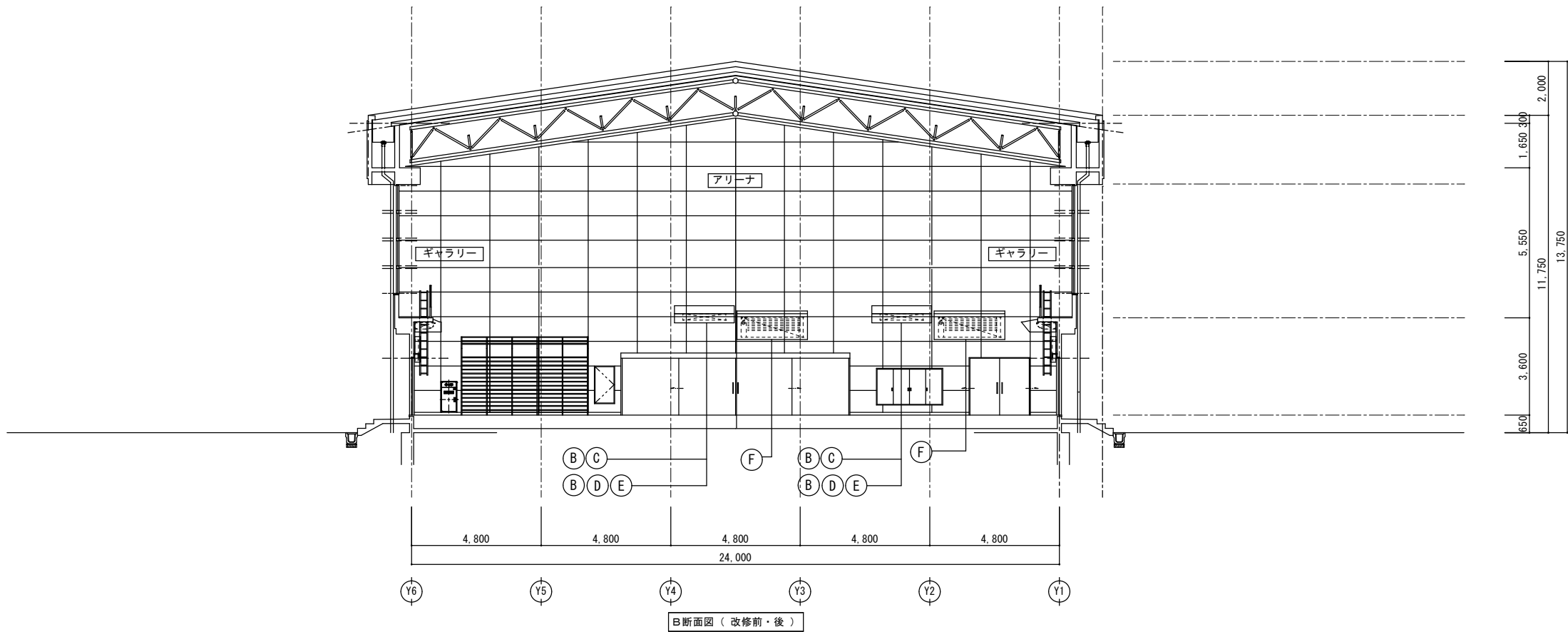
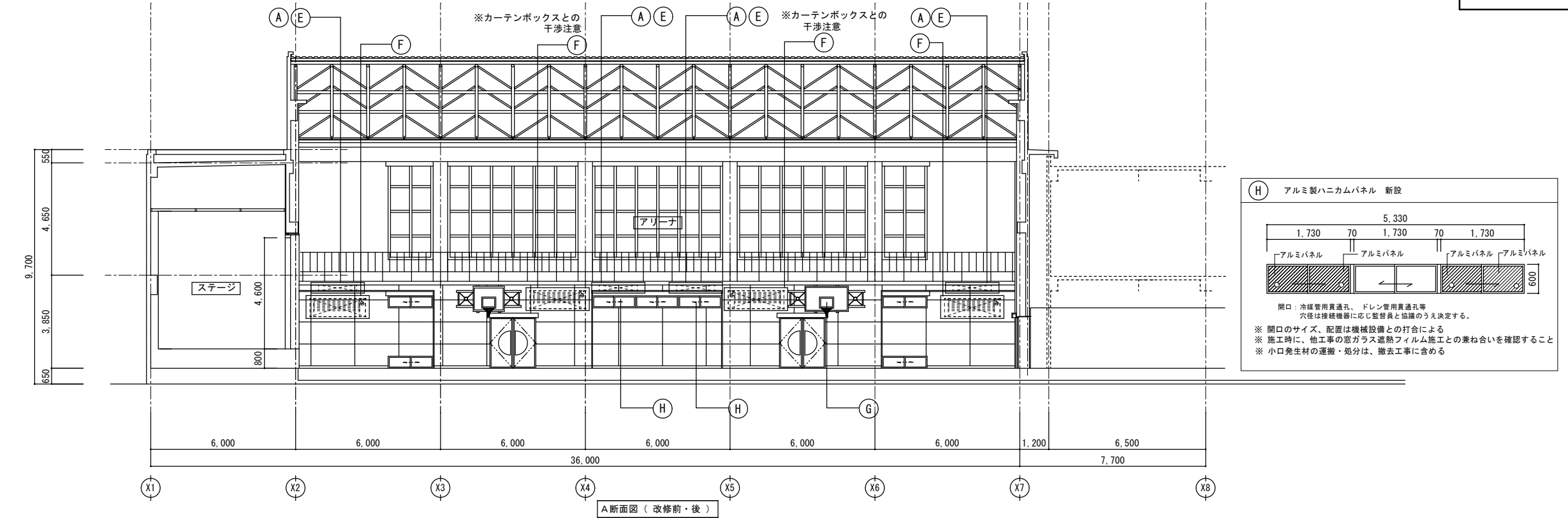
北側立面図 (改修前・後) S=1/150



東側立面図 (改修前・後) S=1/150

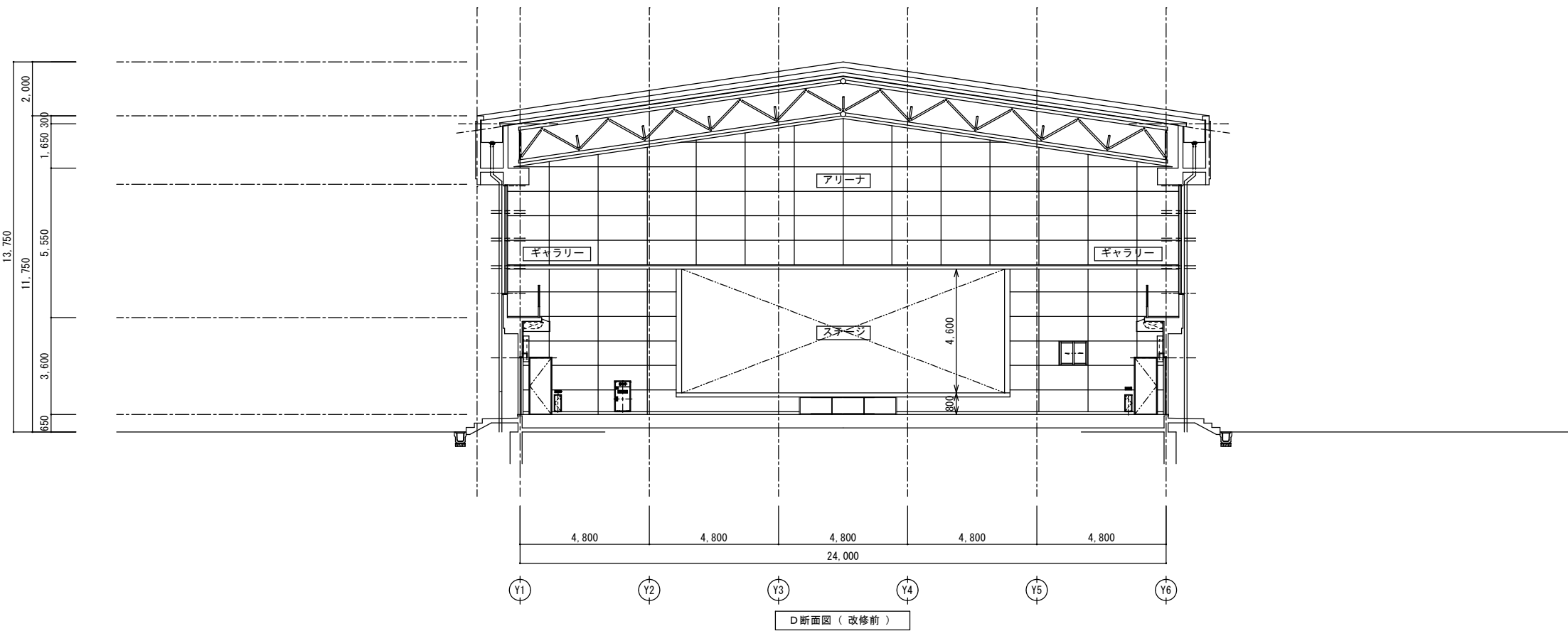
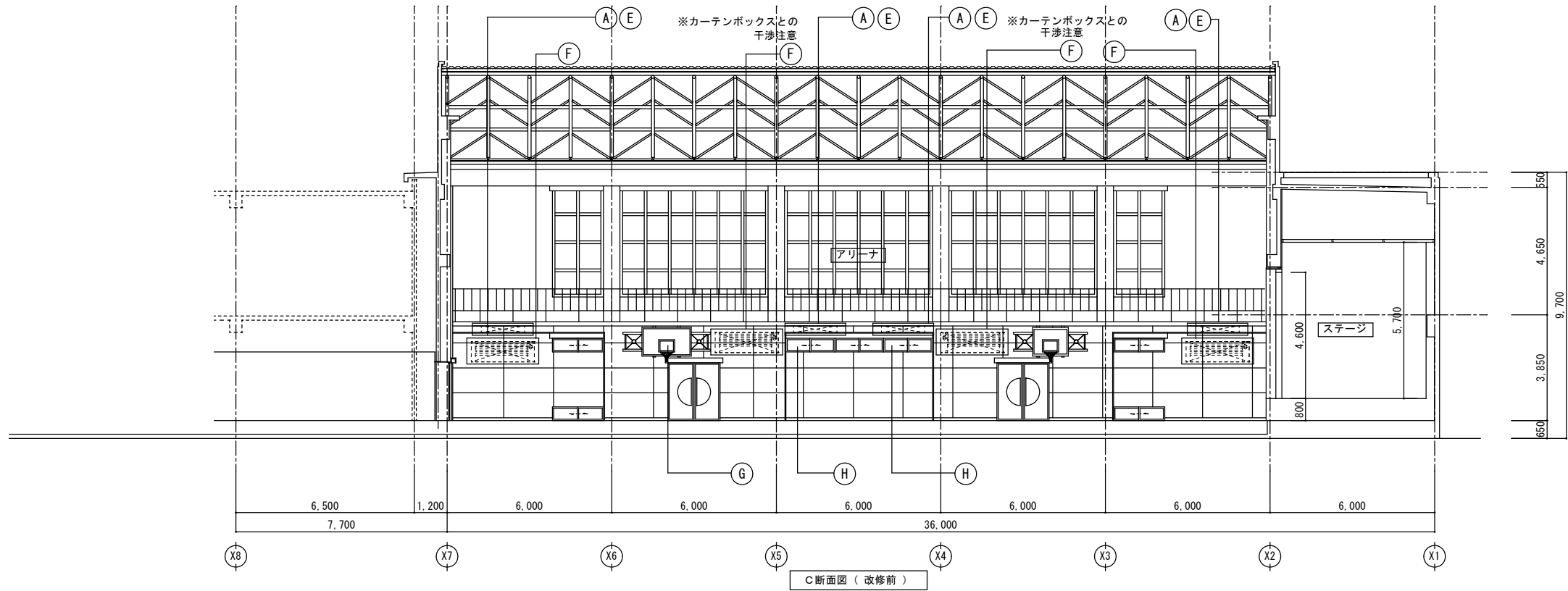
凡例 (改修前・後)	A	【改修前】窓ガラス 撤去 (4窓 8箇所) 【改修後】アルミ製ハニカムパネル 新設 (4窓 8箇所) ・空調配管用の穴あけを行ったアルミパネルとする ※「断面図1」参照





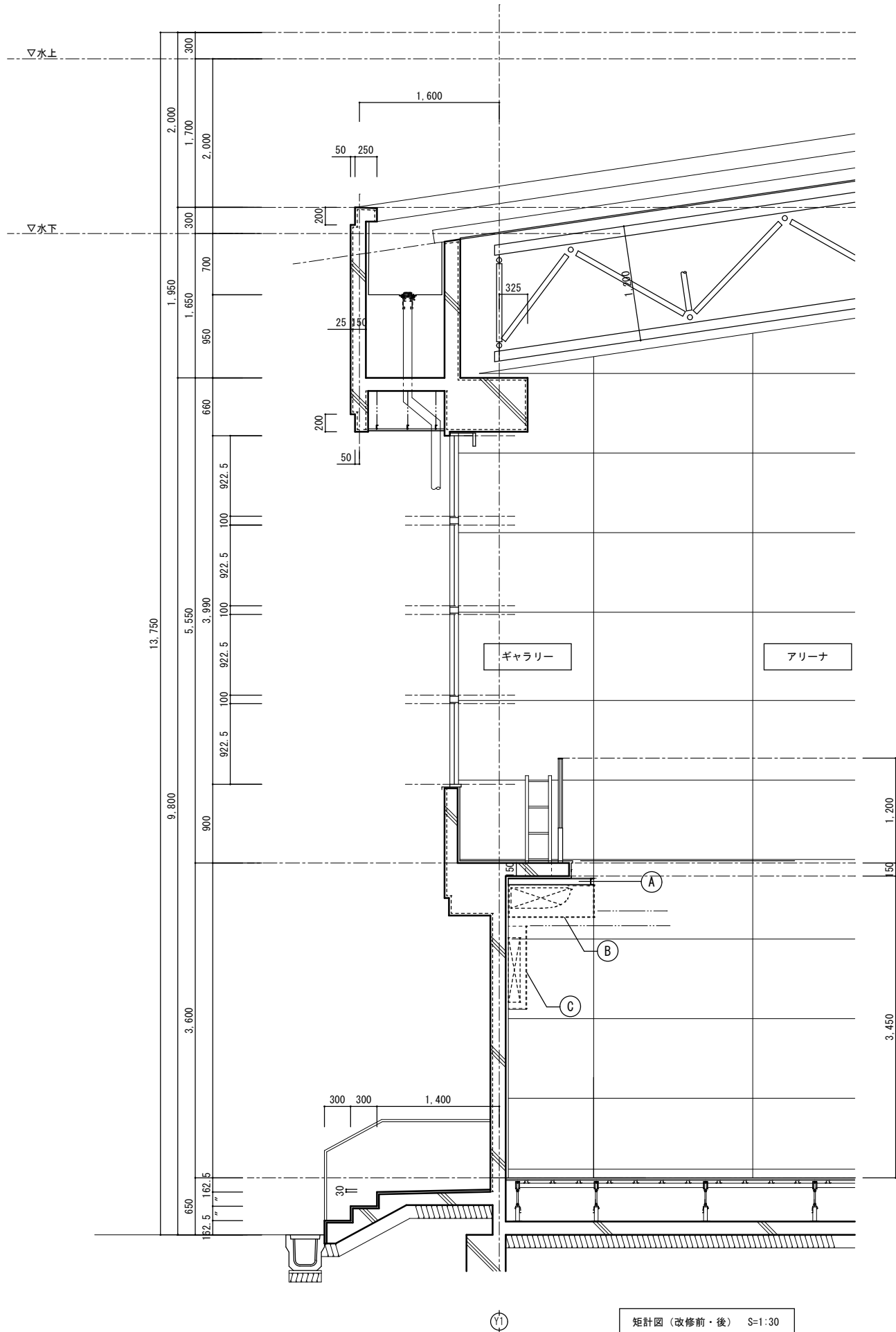
凡例 (改修前・後)	【改修前】 ギャラリー スラブ 【改修後】 エアコン・防球格子 取付下地 新設 (8箇所) ・鉄骨下地ユニット(A)の製作・加工・取付 ※「空調機器取付下地詳細図」参照	【改修前】 — 【改修後】 エアコン取付用ブラケット 新設 (2箇所×2個) ・D800×H300 L-50×50 t=40 SOP塗装 ・RC躯体に直接樹脂アンカーにて固定	【改修前】 — 【改修後】 エアコン用 防球格子 新設 (10箇所) ・W2210×D980×H340 アルミ製・鉄骨ユニット(A)またはブラケット にボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照	【改修前】 壁付けバスケットゴール 一時撤去 (1対2箇所) 【改修後】 壁付けバスケットゴール 再設置 (1対2箇所)
	【改修前】 壁 下地・仕上 撤去 (4箇所×2個分) ・ブラケット取付部分の外形寸法に対し、 周囲30～50mm程度のクリアランスを確保し撤去する 【改修後】 壁 下地・仕上 補修 (4箇所×2個分) ・ブラケットを避け、周囲を木製の見切り材 (EP-G塗装) にて補修する。	【改修前】 — 【改修後】 エアコン防球格子取付用ブラケット 新設 (2箇所×2個) ・D800×H300 L-50×50 t=40 SOP塗装 ・RC躯体に直接樹脂アンカーにて固定	【改修前】 — 【改修後】 輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設 (10箇所) ・W2620×H950×D290 アルミ製 ・壁仕上の上より躯体へ樹脂アンカーで取付 ※設備図面「格子参考図」参照	【改修前】 窓ガラス 撤去(4窓 8枚) 【改修後】 アルミ製ハニカムパネル 新設 (4窓 8枚) 空調配管用の穴あけを行ったアルミパネルを設置する ※上記図面参照 ※ 小口発生材の運搬・処分は、撤去工事に含める





凡例 (改修前・後)	Ⓐ	【改修前】 ギャラリー スラブ 【改修後】 エアコン・防球格子 取付下地 新設 (8箇所) ・鉄骨下地ユニット(A)の製作・加工・取付 ※「空調機器取付下地詳細図」参照	Ⓒ	【改修前】 — 【改修後】 エアコン取付用ブラケット 新設 (2箇所×2個) ・D800×H300 L=50×50 t=40 SGP塗装 ・RC躯体に直接樹脂アンカーにて固定	Ⓔ	【改修前】 — 【改修後】 エアコン用 防球格子 新設 (10箇所) ・W2210×D980×H340 アルミ製 ・鉄骨ユニット(A)またはブラケット にボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照	Ⓖ	【改修前】 壁付けバスケットゴール 一時撤去 (1対2箇所) 【改修後】 壁付けバスケットゴール 再設置 (1対2箇所)
	Ⓑ	【改修前】 壁 下地・仕上 撤去 (2箇所×2個分) ・ブラケット取付部分の外形寸法に対し、 周囲30～50mm程度のクリアランスを確保し撤去する 【改修後】 壁 下地・仕上 補修 (2箇所×2個分) ・ブラケットを避け、周囲を木製の見切り材 (EP-G塗装)にて補修する。	Ⓓ	【改修前】 — 【改修後】 エアコン防球格子取付用ブラケット 新設 (2箇所×2個) ・D800×H300 L=50×50 t=40 SGP塗装 ・RC躯体に直接樹脂アンカーにて固定	Ⓕ	【改修前】 — 【改修後】 輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設 (10箇所) ・W2620×H950×D290 アルミ製 ・壁仕上の上より躯体へ増設アンカーで取付 ※設備図面「格子参考図」参照	Ⓗ	【改修前】 窓ガラス 撤去(4窓 8枚) 【改修後】 アルミ製ハニカムパネル 新設 (4窓 8枚) 空調配管用の穴あけを行ったアルミパネルを設置する ※「断面図1」参照 ※小口発生材の運搬・処分は、撤去工事に含める





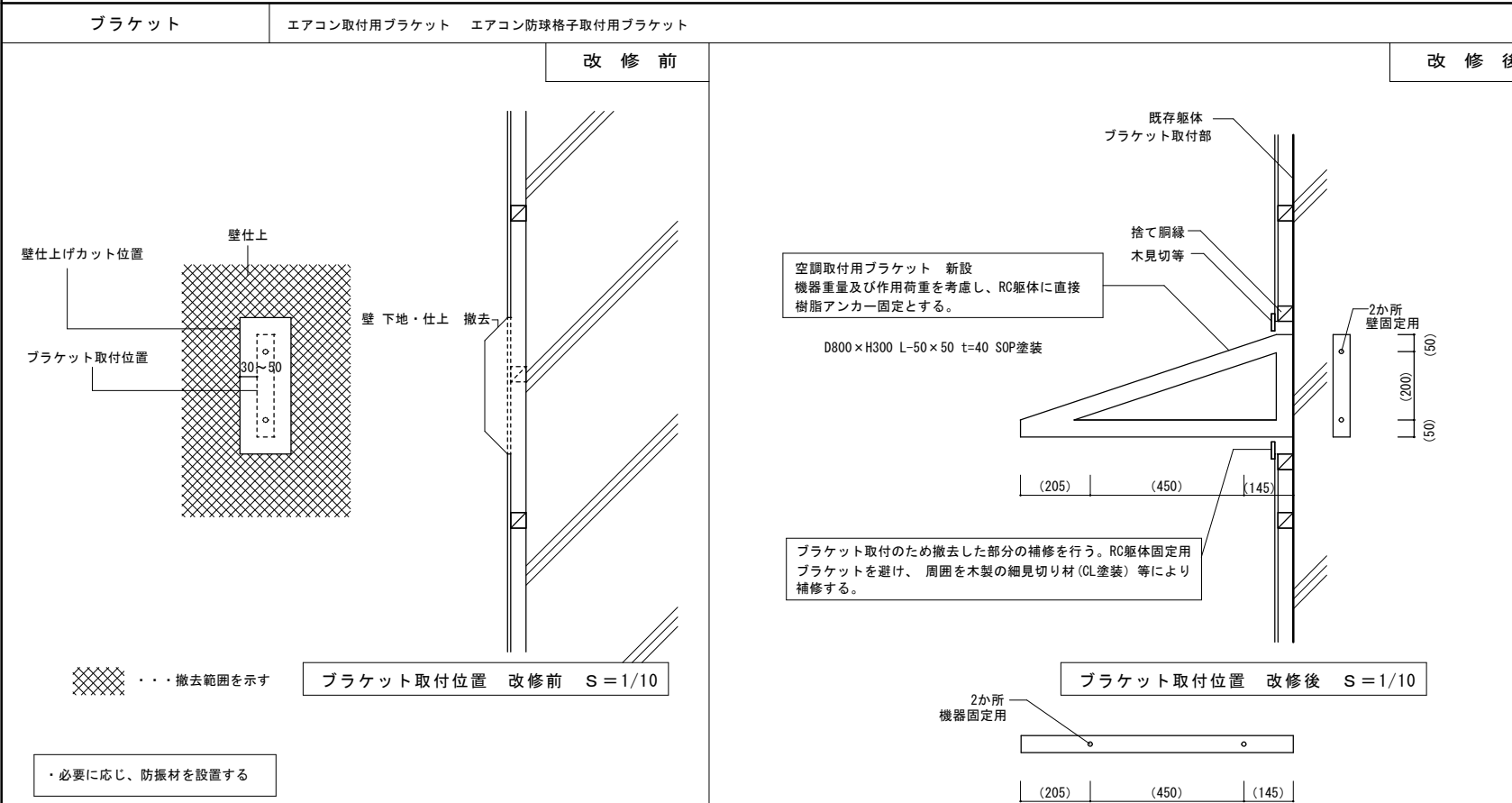
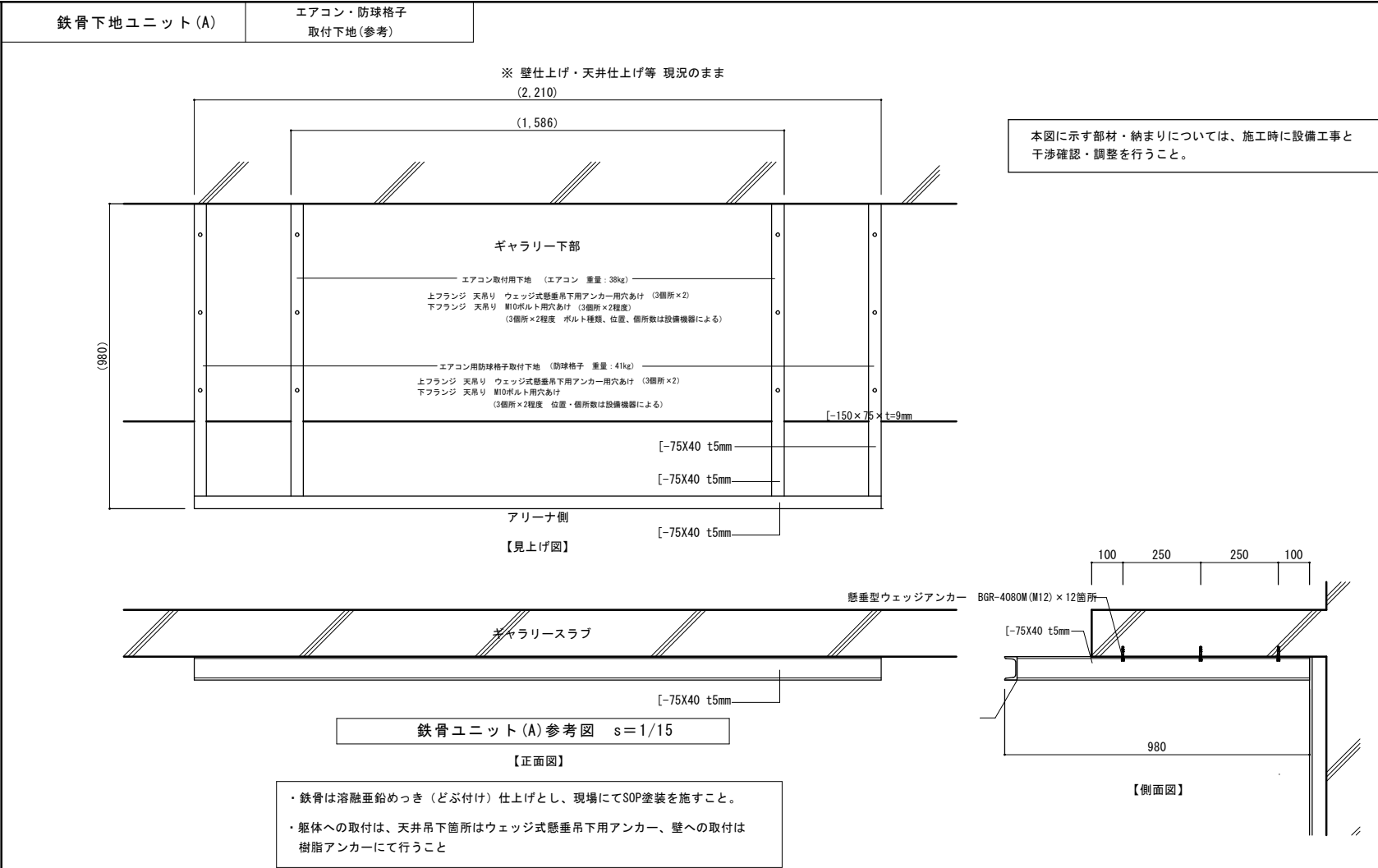
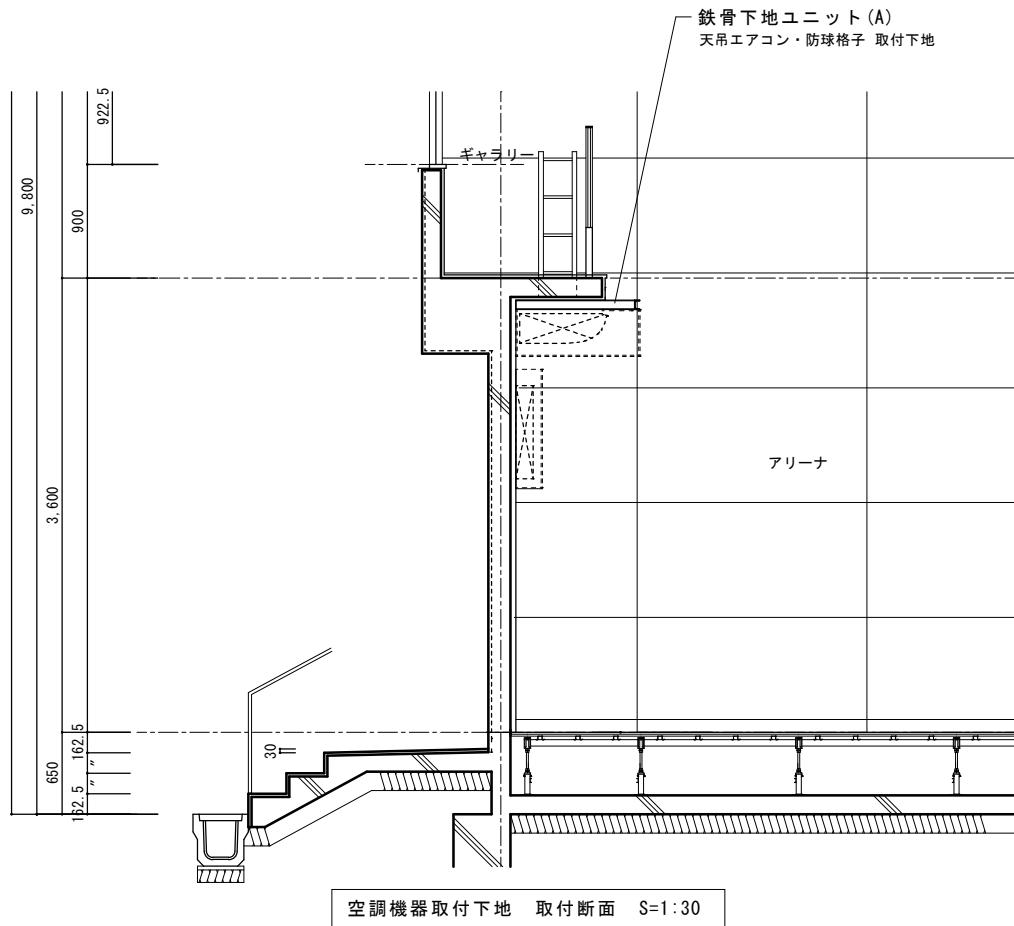
矩計図 (改修前・後) S=1:30

凡例 (改修前・後)	①	【改修前】 ギャラリー スラブ 【改修後】 エアコン・防球格子 取付下地 新設 (8箇所) ・鉄骨下地ユニット (A) の製作・加工・取付 ※「空調機器取付下地詳細図」参照
	②	【改修前】 — 【改修後】 エアコン用 防球格子 新設 (10箇所) ・W210×D980×H340 アルミ製 ・鉄骨ユニット (A) にボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照
	③	【改修前】 — 【改修後】 輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設 (10箇所) ・W2620×H950×D290 アルミ製 ・壁仕上の上より躯体へ樹脂アンカーで取付 ※設備図面「格子参考図」参照



鉄骨下地ユニットの製作・取付に関する注意事項

・本図に示す納まり・寸法は、設備位置に従い、施工時に調整のうえ施工すること。必要に応じ、監督員の承諾を得ること。



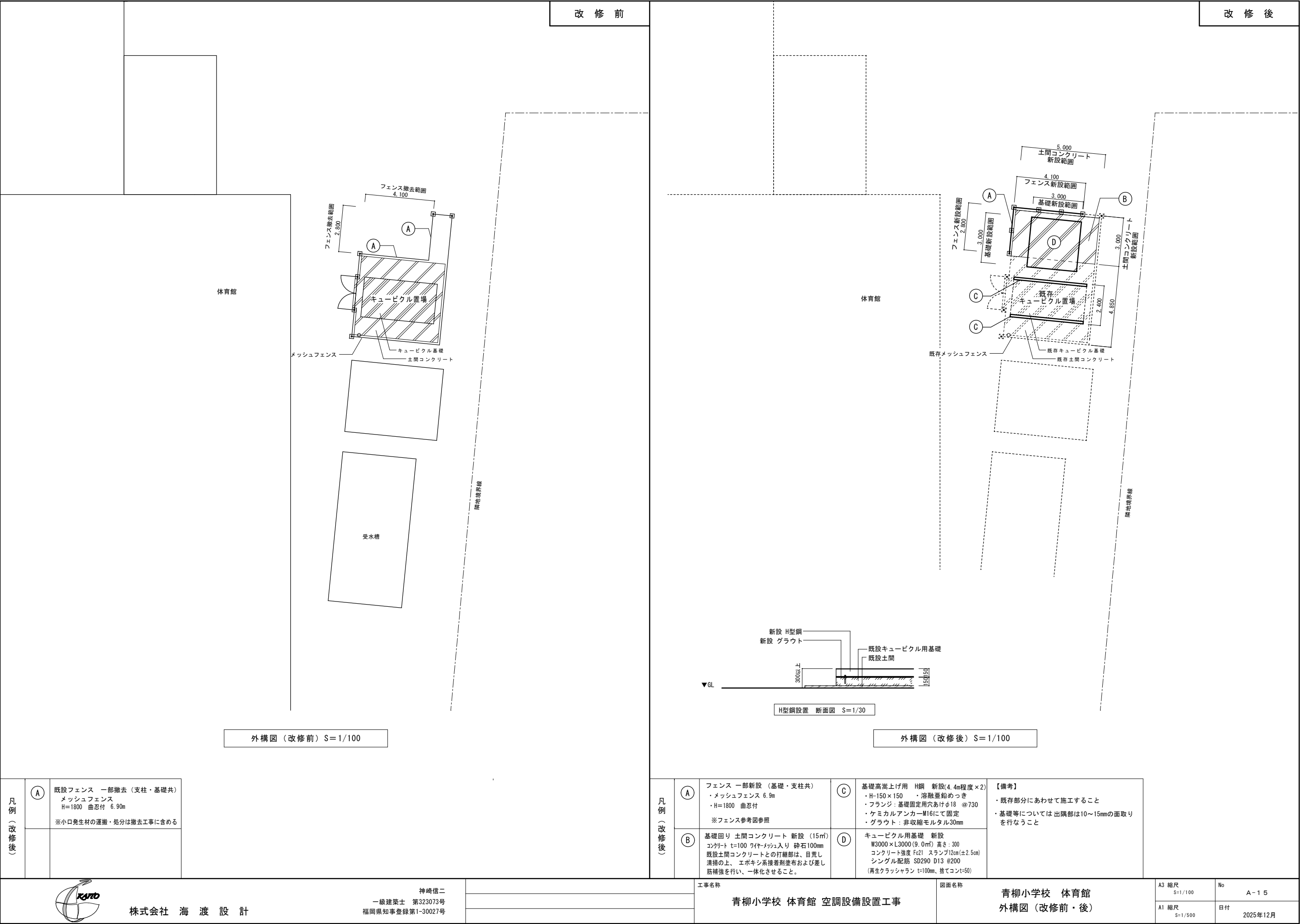
株式会社 海 渡 設 計

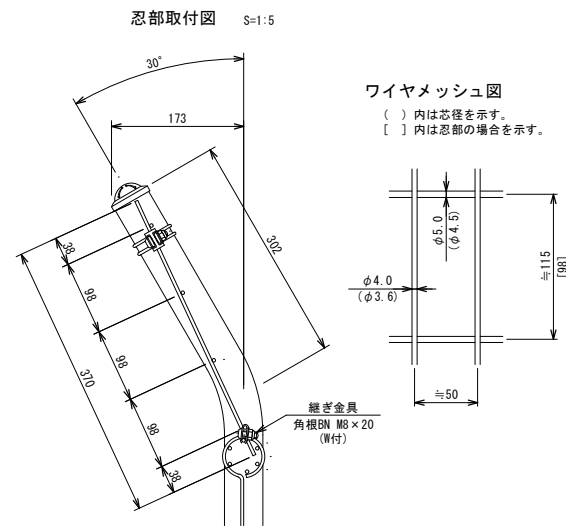
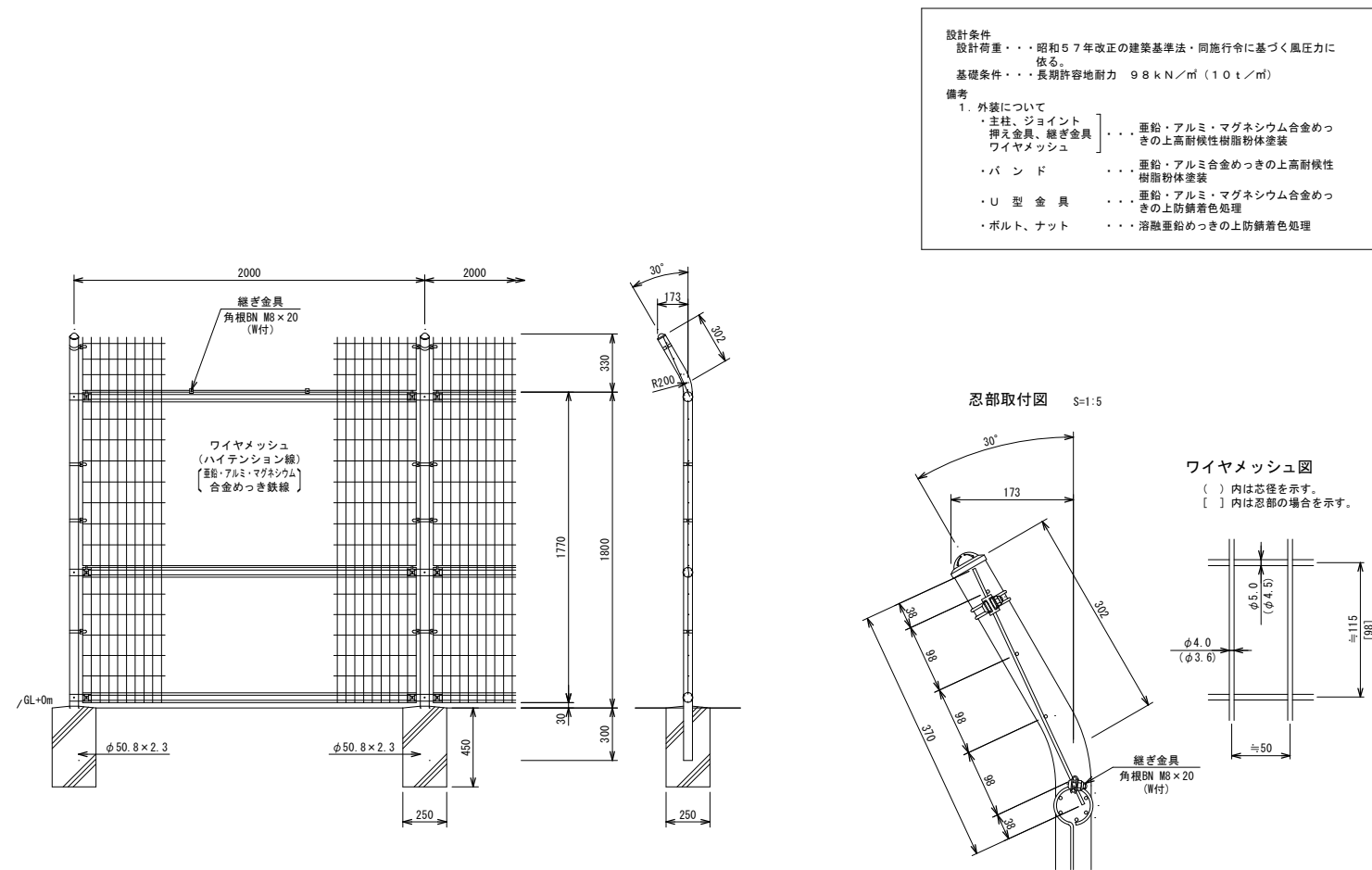
神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号



工事名称
青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

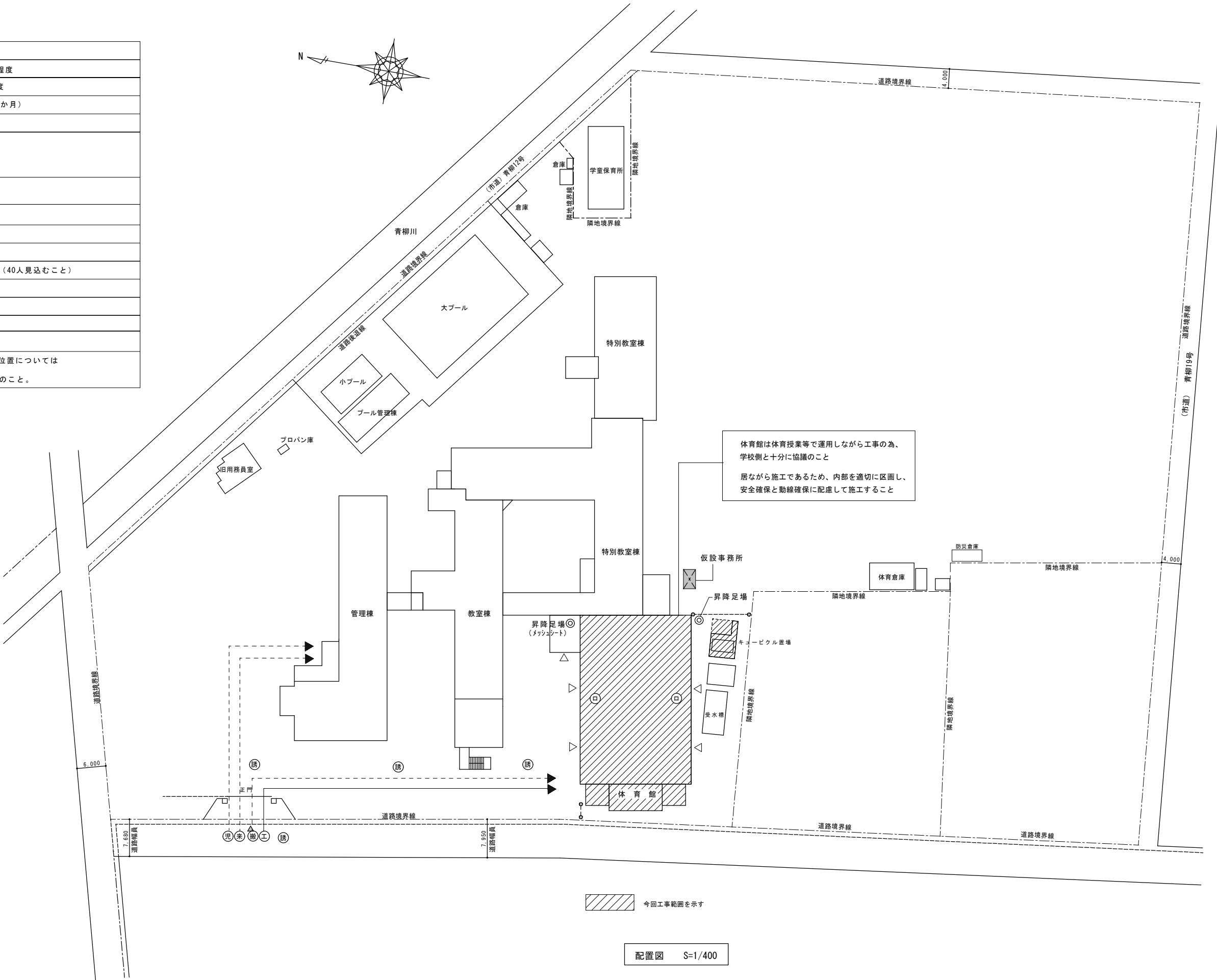
図面名称
青柳小学校 体育館
空調機器取付下地詳細図

A3 縮尺	—	No	A-14
A1 縮尺	1:30	日付	2025年12月





凡 例（仮設計画）		
昇降足場	⊙	H＝4500程度
仮囲い	○-----○	H2000程度
ローリング足場	⊠	（2台4か月）
建物出入口	▷	
現場事務所		
特記事項 現場事務所は10㎡程度とする		
凡 例		
	既存建物	
±000	GLからのレベルを示す。	
誘	交通誘導警備員（資材搬出入時等）（40人見込むこと）	
工	工事動線を示す。	
児	児童及び職員の動線を示す。	
来	来客の動線を示す。	
搬	搬入車両出入口を示す。	
特記事項	工事用出入口位置及び作業時間、足場設置位置については学校と十分協議のこと。 工事完了時、作業場及び進入路は原型復旧のこと。	



配置図 S=1/400



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称
青柳小学校 体育館 空調設備設置工事

図面名称
青柳小学校
仮 設 計 画 図

A3 縮尺 S=1/800	No A-17
A1 縮尺 S=1/400	日付 2025年12月